資料④

けが及び安心・安全に関する実態調査アンケート集計結果

令和３年３月

松 原 市

調査の概要

１．調査の目的

本調査は WHO（世界保健機関）が推奨しているセーフコミュニティ活動の推進のため、松原市における事故や犯罪、けがなどの予防・減少に資する現状の把握及び地域の課題や市民の安心・安全に対する意識などの現状把握を行うことを目的としています。

２．調査の時期

令和３年１月１８日から令和３年２月１９日

３．調査の対象

令和２年１１月１日現在、住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の 3,000 人を無作為抽出

４．配布、回収方法

郵送による配布、回収

５．回収数と回収率

送付数	送達不能数	回収数	回収率
3,000	11	1269	42.3%

《参考》

2017 年

送付数	送達不能数	回収数	回収率
3,000	19	1,073	36.0%

2014 年

	送付数	送達不能数	回収数	回収率
世帯票	3,000	33	849	28.6%
個人票	12,000	132	1,625	－

2011 年

		送付数	送達不能数	回収数	回収率
市民	世帯票	1,000	10	359	36.3%
	個人票	－	－	734	－
職員	世帯票	436	15	399	94.8%
	個人票	－	－	1,013	－

１．性別について

回答者の男女の割合は、図表３の住民基本台帳登録者の割合とほぼ同程度となっている。

図表 1　男女別回答者数

	男性	女性	不明	合計
回答者数	457	762	50	1,269
割合	36.0%	60.0%	3.9%	100.0%

２．年齢について

回答者の年齢別の割合においても、図表３の住民基本台帳登録世帯の割合とほぼ同程度となっている。

図表 2　年齢層別回答者数

	合計		男性		女性		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18～19 歳	12	0.9%	5	0.4%	7	0.6%	0	0.0%
20～24 歳	51	4.0%	16	1.3%	35	2.8%	0	0.0%
25～29 歳	44	3.5%	13	1.0%	30	2.4%	1	0.1%
30～34 歳	39	3.1%	11	0.9%	27	2.1%	1	0.1%
35～39 歳	69	5.4%	17	1.3%	52	4.1%	0	0.0%
40～44 歳	79	6.2%	24	1.9%	50	3.9%	5	0.4%
45～49 歳	84	6.6%	27	2.1%	55	4.3%	2	0.2%
50～54 歳	105	8.3%	35	2.8%	66	5.2%	4	0.3%
55～59 歳	102	8.0%	47	3.7%	53	4.2%	2	0.2%
60～64 歳	102	8.0%	37	2.9%	63	5.0%	2	0.2%
65～69 歳	108	8.5%	42	3.3%	61	4.8%	5	0.4%
70～74 歳	195	15.4%	76	6.0%	114	9.0%	5	0.4%
75～79 歳	138	10.9%	51	4.0%	78	6.1%	9	0.7%
80～84 歳	90	7.1%	38	3.0%	48	3.8%	4	0.3%
85～89 歳	29	2.3%	15	1.2%	12	0.9%	2	0.2%
90 歳以上	13	1.0%	2	0.2%	11	0.9%	0	0.0%
不明	9	0.7%	1	0.1%	0	0.0%	8	0.6%
合計	1,269	100.0%	457	36.0%	762	60.0%	50	4.0%

図表 3　住民基本台帳人口（令和３年１月末）

	合計		男		女	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18～19 歳	2,493	2.4%	1,284	1.3%	1,209	1.2%
20～24 歳	6,729	6.6%	3,393	3.3%	3,336	3.3%
25～29 歳	6,027	5.9%	3,040	3.0%	2,987	2.9%
30～34 歳	5,660	5.5%	2,947	2.9%	2,713	2.6%
35～39 歳	5,882	5.7%	3,022	2.9%	2,860	2.8%
40～44 歳	6,767	6.6%	3,410	3.3%	3,357	3.3%
45～49 歳	9,630	9.4%	4,800	4.7%	4,830	4.7%
50～54 歳	9,633	9.4%	4,787	4.7%	4,846	4.7%
55～59 歳	7,791	7.6%	3,870	3.8%	3,921	3.8%
60～64 歳	6,160	6.0%	3,034	3.0%	3,126	3.1%
65～69 歳	6,732	6.6%	3,135	3.1%	3,597	3.5%
70～74 歳	9,472	9.2%	4,261	4.2%	5,211	5.1%
75～79 歳	8,147	8.0%	3,521	3.4%	4,626	4.5%
80～84 歳	6,269	6.1%	2,677	2.6%	3,592	3.5%
85～89 歳	3,364	3.3%	1,232	1.2%	2,132	2.1%
90 歳以上	1,703	1.7%	400	0.4%	1,303	1.3%
合計	102,459	100%	48,810	47.6%	53,646	52.4%

３．職業について

男性では「無職」が 36.3%と最も多く、次いで「会社員」が 32.6%である。女性では「専業主婦（主夫）」が最も多く、35.2%であり、次いで「パート・アルバイト」が 20.3%である。

図表 4　男女別職業

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
農林業	2	0.2%	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%
自営業	86	6.8%	53	11.6%	30	3.9%	3	6.0%
会社員	281	22.1%	149	32.6%	124	16.3%	8	16.0%
公務員・団体職員	42	3.3%	20	4.4%	20	2.6%	2	4.0%
専業主婦（主夫）	280	22.1%	4	0.9%	268	35.2%	8	16.0%
パート・アルバイト	189	14.9%	31	6.8%	155	20.3%	3	6.0%
学生	38	3.0%	16	3.5%	22	2.9%	0	0.0%
無職	298	23.5%	166	36.3%	115	15.1%	17	34.0%
その他	39	3.1%	14	3.1%	22	2.9%	3	6.0%
不明	14	1.1%	3	0.7%	5	0.7%	6	12.0%
合計	1,269	100.0%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

４．居住地域について

回答世帯の居住地域の割合は、図表６の住民基本台帳登録世帯の割合とほぼ同程度となっている。

図表 5　地域別アンケート回答数

地域	件数	割合
丹南	20	1.6%
岡	64	5.0%
新堂	47	3.7%
立部	29	2.3%
上田	83	6.5%
阿保	82	6.5%
西大塚	16	1.3%
柴垣	29	2.3%
田井城	52	4.1%
河合	44	3.5%
高見の里	59	4.6%
松ヶ丘	55	4.3%
天美我堂	73	5.8%
天美東	86	6.8%
天美南	59	4.6%
天美西	31	2.4%
天美北	47	3.7%
大堀	12	0.9%
別所	25	2.0%
一津屋	53	4.2%
小川	26	2.0%
若林	2	0.2%
東新町	65	5.1%
南新町	25	2.0%
北新町	54	4.3%
三宅東	6	0.5%
三宅中	49	3.9%
三宅西	17	1.3%
西野々	17	1.3%
不明	42	3.3%

図表 6　住民基本台帳世帯数（令和３年１月末現在）

地域	件数	割合
丹南	1,023	1.8%
岡	2,515	4.4%
新堂	1,595	2.8%
立部	1,997	3.5%
上田	3,265	5.7%
阿保	3,125	5.5%
西大塚	687	1.2%
柴垣	1,085	1.9%
田井城	2,290	4.0%
河合	2,194	3.8%
高見の里	3,084	5.4%
松ヶ丘	1,753	3.1%
天美我堂	3,147	5.5%
天美東	4,106	7.2%
天美南	3,044	5.3%
天美西	1,810	3.2%
天美北	2,412	4.2%
大堀	419	0.7%
別所	1,233	2.2%
一津屋	2,706	4.7%
小川	1,029	1.8%
若林	139	0.2%
東新町	3,632	6.4%
南新町	1,686	3.0%
北新町	2,821	4.9%
三宅東	399	0.7%
三宅中	2,377	4.2%
三宅西	809	1.4%
西野々	649	1.1%
－		

５．住居の状況について

「一戸建て持ち家」が 72.1%と最も多く、次いで「分譲マンション」、「賃貸マンション・アパート」となっている。

図表 7　居住状況

	一戸建て持ち家	一戸建て借家	分譲マンション	賃貸マンション	公営・公団住宅	社宅・寮	その他	不明
件数	915	46	120	102	24	6	42	14
割合	72.1%	3.6%	9.5%	8.0%	1.9%	0.5%	3.3%	1.1%

６．居住年数について

男女とも「20 年以上」が最も多く、全体の 75.9%である。また、男女で大きな差はみられない。

図表 8　男女別居住年数

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1 年未満	19	1.5%	5	1.1%	14	1.8%	0	0.0%
1 年以上 5 年未満	63	5.0%	17	3.7%	44	5.8%	2	4.0%
5 年以上 10 年未満	73	5.8%	20	4.4%	51	6.7%	2	4.0%
10 年以上 20 年未満	139	11.0%	47	10.3%	83	10.9%	9	18.0%
20 年以上	963	75.9%	367	80.3%	567	74.4%	29	58.0%
不明	12	0.9%	1	0.2%	3	0.4%	8	16.0%
合計	1,269	100.0%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

７．世帯の状況について

「親と子の 2 世代世帯」が 44.0%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」、「単身世帯」となっている。

図表 9　世帯構成

	単身世帯	夫婦のみの世帯	親と子の 2 世代世帯	親・子・孫の 3 世代世帯	その他	不明
件数	170	396	558	101	30	14
割合	13.4%	31.2%	44.0%	8.0%	2.4%	1.1%

8．SC 認知度について

問：松原市がセーフコミュニティ活動に取り組んでいることを知っていますか？

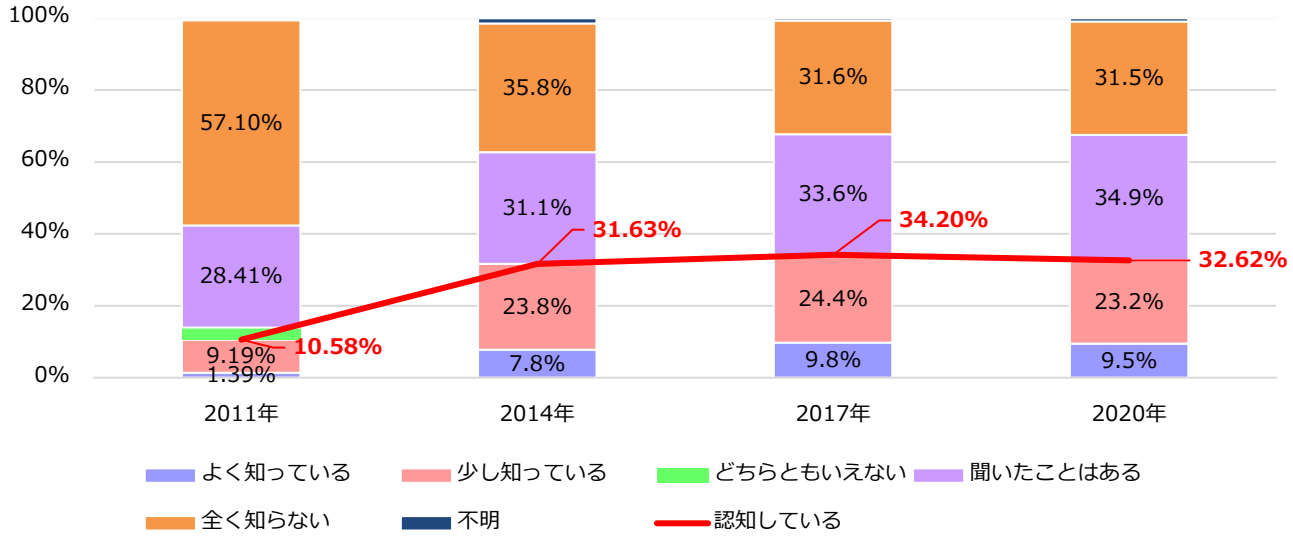
「よく知っている」「少し知っている」と回答した人が合わせて 32.6%であった。一方、「全く知らない」と回答した人は 31.5%であり、年々減少している。また、男女間で差はみられない。

図表 10　男女別 SC 認知度

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
よく知っている	120	9.5%	49	10.7%	67	8.8%	4	8.0%
少し知っている	294	23.2%	111	24.3%	174	22.8%	9	18.0%
聞いたことはある	443	34.9%	157	34.4%	274	36.0%	12	24.0%
全く知らない	400	31.5%	139	30.4%	242	31.8%	19	38.0%
不明	12	0.9%	1	0.2%	5	0.7%	6	12.0%
合計	1,269	100.0%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

過去の集計結果と比較すると、「よく知っている」「少し知っている」と回答した人が取り組み開始時（2011 年）より増加しており、「全く知らない」と回答した人はより大幅に減少している。

図表 11　SC 認知割合



「70～79 歳」で「よく知っている」「少し知っている」と回答した割合は、38.1%と最も高くなっている。

図表 12　年齢別 SC 認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
よく知っている	0	4	5	15	19	20	44	13	0
少し知っている	3	17	21	44	51	42	83	32	1
聞いたことはある	6	31	40	58	74	75	117	41	1
全く知らない	3	43	42	45	63	73	83	46	2
不明	0	0	0	1	0	0	6	0	5
合計	12	95	108	163	207	210	333	132	9

問：「１．よく知っている」あるいは「２．少し知っている」、「３．聞いたことはある」と回答された方は、どこで情報を得ましたか？

「市の広報紙」からの情報取得が最も多く、回答者の 80.2%と大部分を占めている。また、男女で差はみられない。

図表 13　男女別情報取得手段

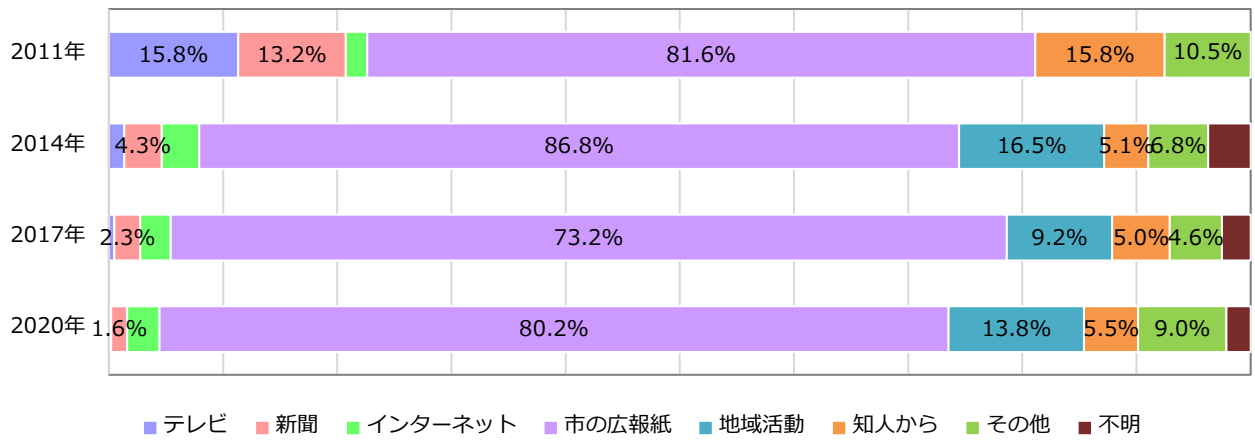
	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
テレビ	2	0.2%	0	0%	2	0.4%	0	0%
新聞	14	1.6%	6	1.9%	8	1.6%	0	0%
インターネット	28	3.3%	15	4.7%	12	2.3%	1	4.0%
市の広報紙	687	80.2%	254	80.1%	411	79.8%	22	88.0%
地域活動	118	13.8%	45	14.2%	70	13.6%	3	12.0%
知人から	47	5.5%	12	3.8%	33	6.4%	2	8.0%
その他	77	9.0%	29	9.1%	47	9.1%	1	4.0%
不明	21	2.5%	8	2.5%	13	2.5%	0	0%

どの年齢層においても「市の広報紙」からの情報取得が最も多い。

図表 14　年齢別情報取得手段

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
テレビ	0	0	0	0	0	1	1	0	0
新聞	0	1	0	0	3	1	7	2	0
インターネット	0	7	3	5	8	3	2	0	0
市の広報紙	5	30	55	97	116	111	202	69	2
地域活動	1	3	4	20	20	20	38	12	0
知人から	0	2	2	3	6	9	19	6	0
その他	4	15	6	12	16	9	10	5	0
不明	0	2	0	3	3	4	6	3	0

図表 15　情報取得手段



9．地域との関わりについて

問：あなたの近所づきあいの程度はどのくらいですか？

「あいさつをかわす程度」が 45.5%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」の 35.5%である。また、男女別にみると女性の方が男性より近所づきあいが深い傾向がある。

図表 16　男女別近所づきあいの程度

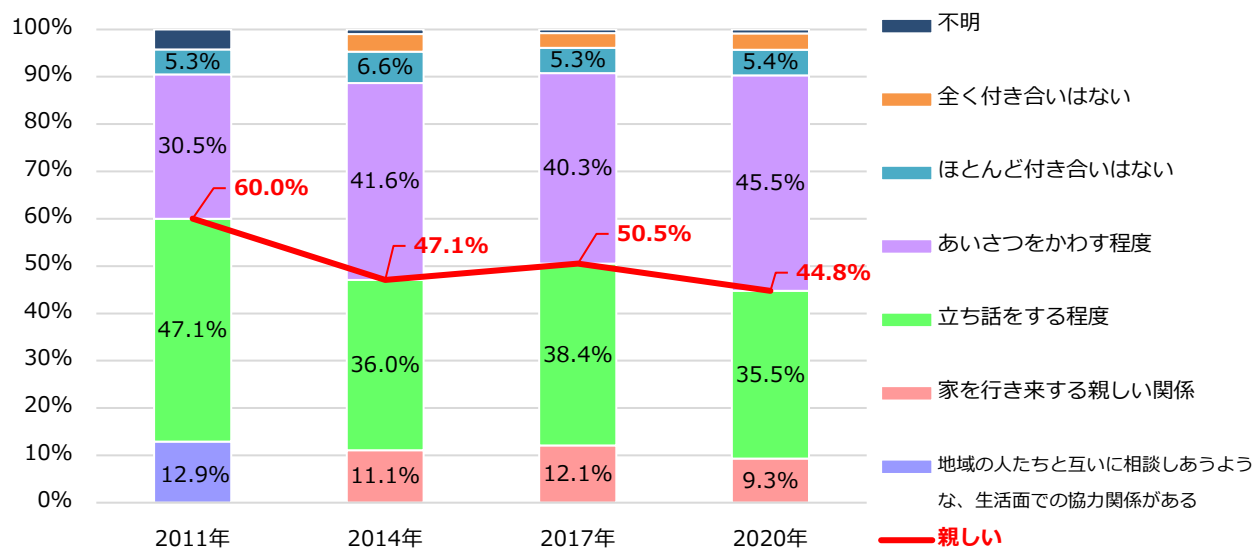
	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
家を行き来する親しい関係	118	9.3%	31	6.8%	83	10.9%	4	8.0%
立ち話をする程度	450	35.5%	148	32.4%	287	37.7%	15	30.0%
あいさつをかわす程度	578	45.5%	234	51.2%	325	42.7%	19	38.0%
ほとんど付き合いはない	69	5.4%	30	6.6%	37	4.9%	2	4.0%
全く付き合いはない	43	3.4%	14	3.1%	26	3.4%	3	6.0%
不明	11	0.9%	0	0%	4	0.5%	7	14.0%
合計	1,269	100%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

60 歳未満では「あいさつをかわす程度」の割合が高く、年齢が上がるにつれ近所づきあいが深くなる。

図表 17　年齢別近所づきあいの程度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
家を行き来する親しい関係	0	0	5	4	13	20	48	28	0
立ち話をする程度	1	6	20	43	71	81	168	59	1
あいさつをかわす程度	9	70	62	94	109	94	103	36	1
ほとんど付き合いはない	2	11	13	16	7	9	8	3	0
全く付き合いはない	0	8	8	6	6	5	4	4	2
不明	0	0	0	0	1	1	2	2	5
合計	12	95	108	163	207	210	333	132	9

図表 18　近所づきあいの程度



問：松原市での暮らしに愛着を感じますか？

松原市での暮らしに愛着を「強く感じる」「感じる」と回答した人の割合が合わせて 54.5%であり、「あまり感じない」「全く感じない」と回答した人の割合は合わせて 11.2%である。また、男女間で差はみられない。

図表 19　男女別愛着度

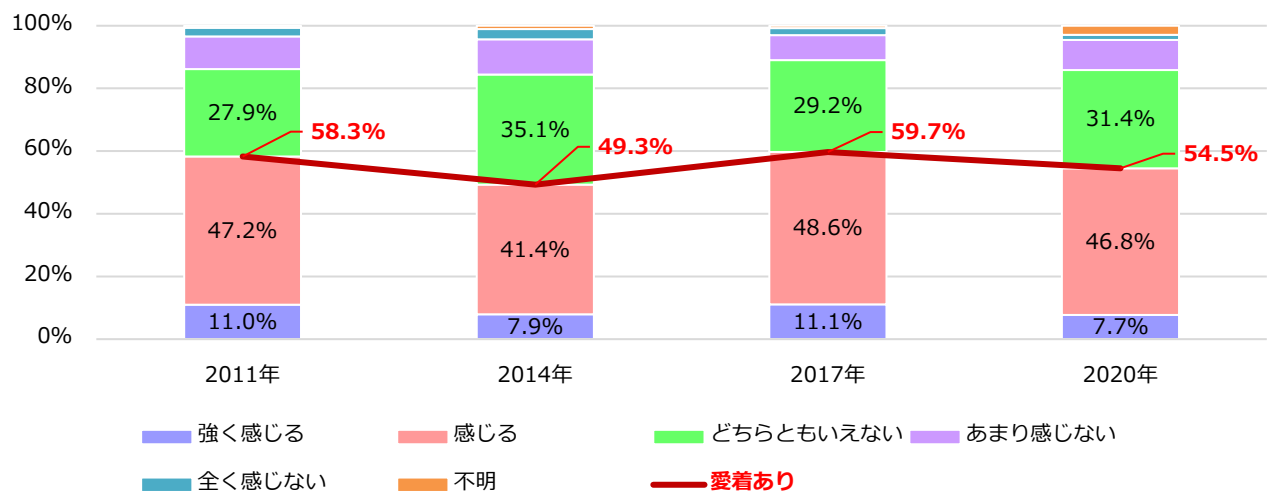
	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
強く感じる	98	7.7%	32	7.0%	62	8.1%	4	8.0%
感じる	594	46.8%	222	48.6%	350	45.9%	22	44.0%
どちらともいえない	398	31.4%	138	30.2%	246	32.3%	14	28.0%
あまり感じない	122	9.6%	50	10.9%	68	8.9%	4	8.0%
全く感じない	20	1.6%	6	1.3%	13	1.7%	1	2.0%
不明	37	2.9%	9	2.0%	23	3.0%	5	10.0%
合計	1,269	100%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

愛着を「強く感じる」「感じる」と回答した人の割合が「20～29 歳」以外では半数以上であったが、「20～29 歳」においては 35.8%となっており、「どちらともいえない」の回答の割合が多い。

図表 20　年齢別愛着度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
強く感じる	2	7	6	8	24	12	27	12	0
感じる	7	27	48	75	100	96	165	72	4
どちらともいえない	1	43	28	58	60	76	98	32	2
あまり感じない	2	13	20	15	19	20	25	8	0
全く感じない	0	4	6	3	2	2	2	0	1
不明	0	1	0	4	2	4	16	8	2
合計	12	95	108	163	207	210	333	132	9

図表 21　愛着度



問：松原市での暮らしは、総じて安心で安全なものだと思いますか？

松原市での暮らしは安心で安全なものだと「強く思う」「そう思う」と回答した人の割合が合わせて47.7%であり、「そう思わない」「全く思わない」と回答した人の割合は合わせて 11.2%である。また、男女間で差はみられない。

図表 22　男女別安心安全度

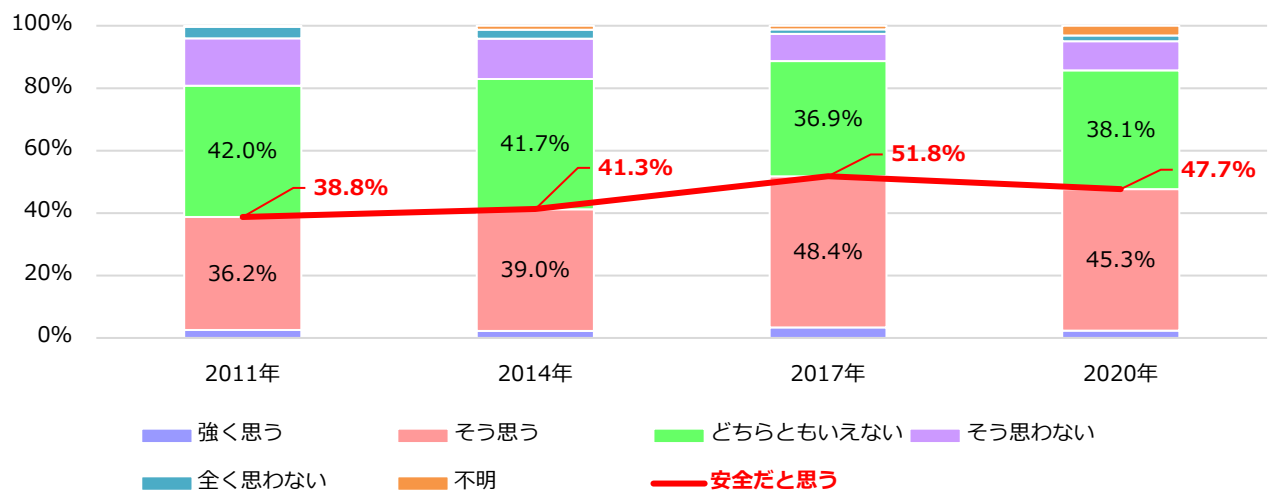
	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
強く思う	30	2.4%	14	3.1%	14	1.8%	2	4.0%
そう思う	575	45.3%	217	47.5%	335	44.0%	23	46.0%
どちらともいえない	483	38.1%	169	37.0%	299	39.2%	15	30.0%
そう思わない	118	9.3%	39	8.5%	76	10.0%	3	6.0%
全く思わない	24	1.9%	7	1.5%	15	2.0%	2	4.0%
不明	39	3.1%	11	2.4%	23	3.0%	5	10.0%
合計	1,269	100%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

20 歳未満と 70 歳以上で、松原市での暮らしは安心で安全なものだと「強く思う」「そう思う」と回答した人の割合が半数以上である。

図表 23　年齢別安心安全度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
強く思う	2	4	1	1	6	2	9	5	0
そう思う	5	41	36	71	93	86	170	70	3
どちらともいえない	2	37	49	68	80	92	108	44	3
そう思わない	2	11	15	15	23	21	25	6	0
全く思わない	1	1	7	3	2	3	6	0	1
不明	0	1	0	5	3	6	15	7	2
合計	12	95	108	163	207	210	333	132	9

図表 24　安心安全度



問：あなたのお住いの地域では、住民が一緒になって地域の課題に取り組んでいると思いますか？

住民が一緒になって地域の課題に取り組んでいると「強く思う」「そう思う」と回答した人の割合が合わせて 27.3%、「そう思わない」「全く思わない」と回答した人の割合は合わせて 29.0%である。

図表 25　男女別地域の課題への取り組み度

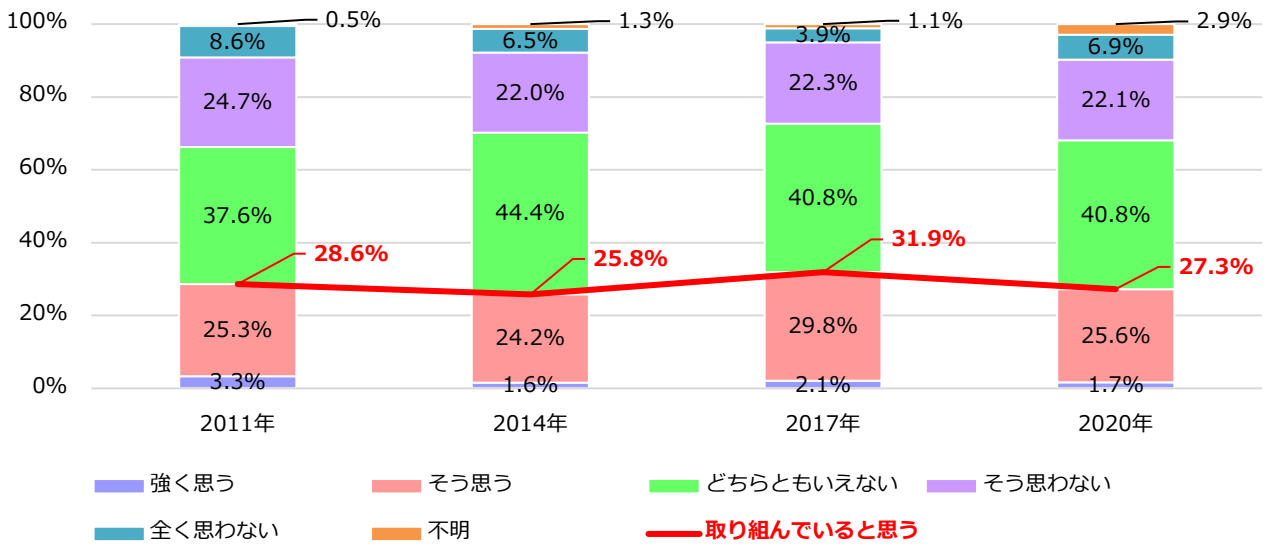
	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
強く思う	21	1.7%	6	1.3%	15	2.0%	0	0%
そう思う	325	25.6%	116	25.4%	192	25.2%	17	34.0%
どちらともいえない	518	40.8%	178	38.9%	325	42.7%	15	30.0%
そう思わない	281	22.1%	111	24.3%	161	21.1%	9	18.0%
全く思わない	87	6.9%	36	7.9%	47	6.2%	4	8.0%
不明	37	2.9%	10	2.2%	22	2.9%	5	10.0%
合計	1,269	100%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

年齢別にみると、住民が一緒になって地域の課題に取り組んでいると「強く思う」「そう思う」と回答した人の割合は年齢が上がるにつれて増加する傾向がある。

図表 26　年齢別地域の課題への取り組み度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
強く思う	0	0	2	0	2	3	11	3	0
そう思う	2	14	16	34	45	56	110	48	0
どちらともいえない	6	43	54	77	91	80	114	49	4
そう思わない	2	28	24	33	50	56	65	21	2
全く思わない	2	9	12	14	17	11	18	3	1
不明	0	1	0	5	2	4	15	8	2
合計	12	95	108	163	207	210	333	132	9

図表 27　地域の課題への取り組み度



問：地域の人々が一緒になって地域の課題に取り組むことは重要であると思いますか？

地域の人々が一緒になって地域の課題に取り組むことは重要であると「強く思う」「そう思う」と回答した人の割合は合わせて 69.5%であり、「そう思わない」「全く思わない」と回答した人の割合は合わせて 3.6%である。また、女性より男性の方が重要であると思う割合が高い。

図表 28　男女別地域で取り組むことの重要度

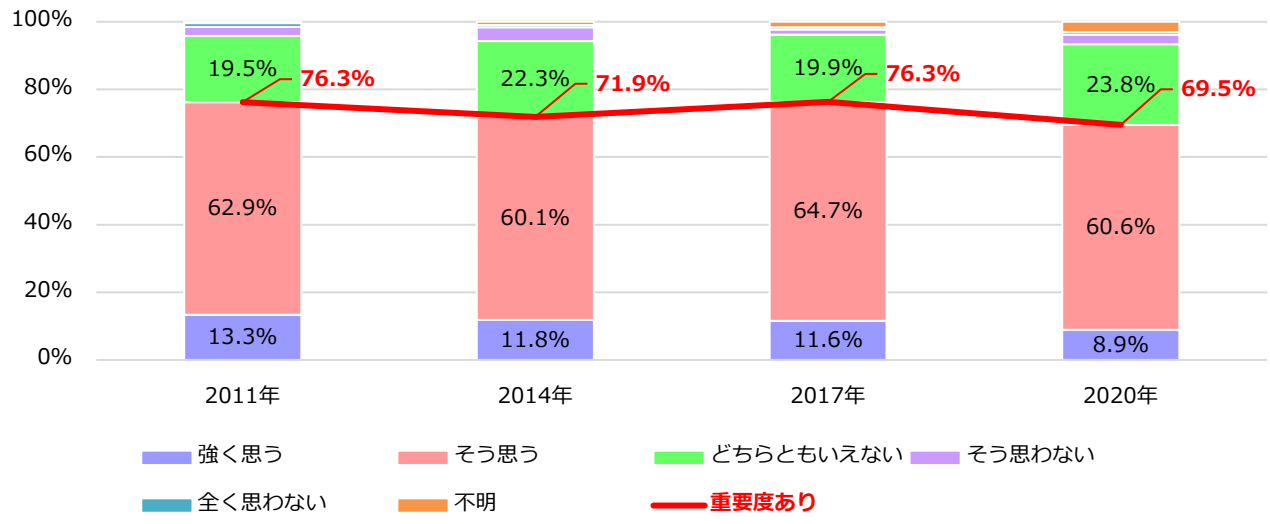
	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
強く思う	113	8.9%	46	10.1%	64	8.4%	3	6.0%
そう思う	769	60.6%	298	65.2%	442	58.0%	29	58.0%
どちらともいえない	302	23.8%	88	19.3%	206	27.0%	8	16.0%
そう思わない	36	2.8%	12	2.6%	22	2.9%	2	4.0%
全く思わない	10	0.8%	4	0.9%	4	0.5%	2	4.0%
不明	39	3.1%	9	2.0%	24	3.1%	6	12.0%
合計	1,269	100%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

「強く思う」「そう思う」と回答した人の割合は「80 歳以上」で最も高く 82.6%であり、最も低い「30～39 歳」においては「どちらともいえない」の回答割合が他の年齢に比べ高い。

図表 29　年齢別地域で取り組むことの重要度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
強く思う	2	10	5	11	17	15	39	12	2
そう思う	6	47	55	104	115	131	213	97	1
どちらともいえない	4	31	43	41	62	49	53	16	3
そう思わない	0	5	3	0	9	10	9	0	0
全く思わない	0	1	2	2	3	0	1	0	1
不明	0	1	0	5	1	5	18	7	2
合計	12	95	108	163	207	210	333	132	9

図表 30　地域で取り組むことの重要度



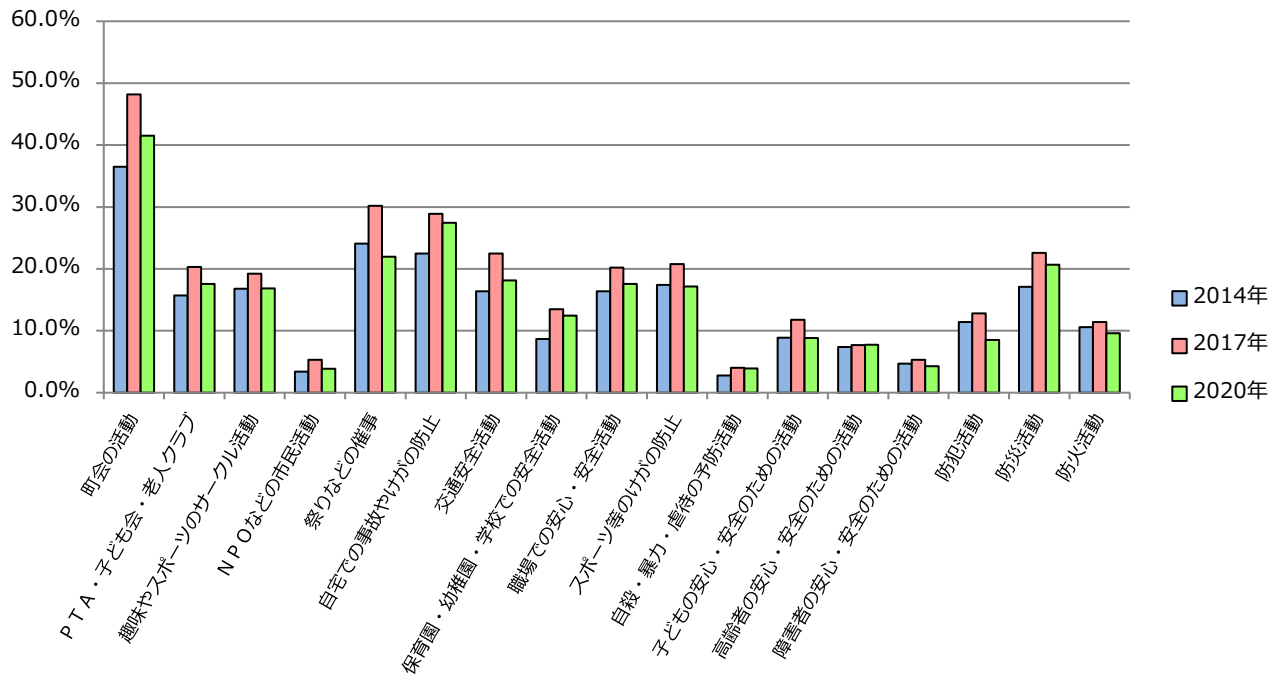
問：地域活動、安心・安全のための地域活動に関し、「過去５年以内」の参加（実施）状況

すべての項目において、参加したことが「ない」と回答した人の割合が「ある」と回答した人の割合を上回っている。また、「ある」と回答した人の割合が最も多いのは「町会の活動」で 41.5%である。

図表 31　過去５年以内の参加（実施）状況

	ある		ない		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
町会の活動	527	41.5%	660	52.0%	82	6.5%
ＰＴＡ・子ども会・老人クラブなどの活動	223	17.6%	939	74.0%	107	8.4%
趣味やスポーツのサークル活動	214	16.9%	945	74.5%	110	8.7%
ＮＰＯなどの市民活動	49	3.9%	1,112	87.6%	108	8.5%
祭りなどの催事	279	22.0%	890	70.1%	100	7.9%
自宅での事故やけがの防止	348	27.4%	800	63.0%	121	9.5%
交通安全活動	230	18.1%	912	71.9%	127	10.0%
保育園・幼稚園・学校での安全活動	158	12.5%	987	77.8%	124	9.8%
職場での安心・安全活動	223	17.6%	854	67.3%	192	15.1%
余暇・スポーツ・レジャーでのけがの防止	218	17.2%	909	71.6%	142	11.2%
自殺・暴力・虐待の予防活動	50	3.9%	1,091	86.0%	128	10.1%
子どもの安心・安全のための活動	112	8.8%	1,033	81.4%	124	9.8%
高齢者の安心・安全のための活動	98	7.7%	1,051	82.8%	120	9.5%
障害者の安心・安全のための活動	54	4.3%	1,096	86..4%	119	9.4%
防犯活動	108	8.5%	1,044	82.3%	117	9.2%
防災活動	262	20.6%	892	70.3%	115	9.1%
防火活動	122	9.6%	1,029	81.1%	118	9.3%

図表 32　過去５年以内の参加（実施）割合



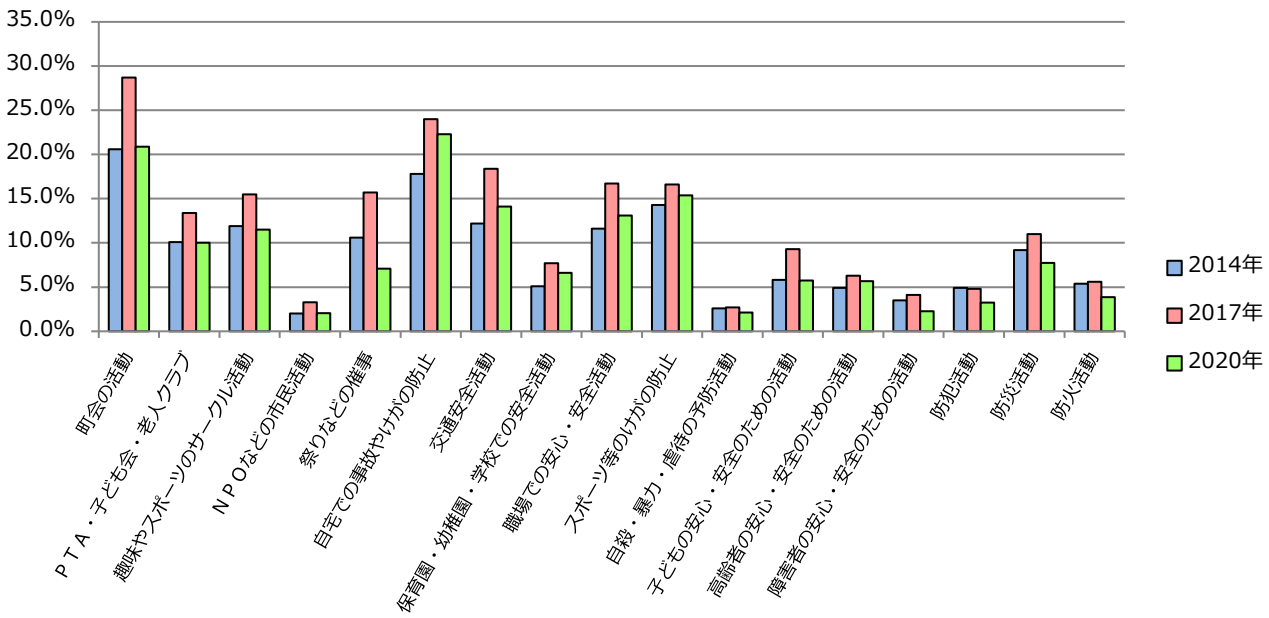
問：地域活動、安心・安全のための地域活動に関し、「現在」の参加（実施）状況

すべての項目において、現在参加して「いない」と回答した人の割合が「いる」と回答した人の割合を上回っている。現在参加して「いる」と回答した人の割合が最も多い「自宅での事故やけが防止」で22.3%である。

図表 33　現在の参加（実施）状況

	いる		いない		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
町会の活動	265	20.9%	805	63.4%	199	15.7%
ＰＴＡ・子ども会・老人クラブなどの活動	127	10.0%	949	74.4%	193	15.2%
趣味やスポーツのサークル活動	146	11.5%	927	73.0%	196	15.4%
ＮＰＯなどの市民活動	26	2.0%	1,033	81.4%	210	16.5%
祭りなどの催事	90	7.1%	965	76.0%	214	16.9%
自宅での事故やけがの防止	283	22.3%	754	59.4%	232	18.3%
交通安全活動	179	14.1%	872	68.7%	218	17.2%
保育園・幼稚園・学校での安全活動	84	6.6%	957	75.4%	228	18.0%
職場での安心・安全活動	166	13.1%	810	63.8%	293	23.1%
余暇・スポーツ・レジャーでのけがの防止	195	15.4%	834	65.7%	240	18.9%
自殺・暴力・虐待の予防活動	27	2.1%	1,000	78.8%	242	19.1%
子どもの安心・安全のための活動	73	5.8%	966	76.1%	230	18.1%
高齢者の安心・安全のための活動	72	5.7%	968	76.3%	229	18.0%
障害者の安心・安全のための活動	29	2.3%	1,010	79.6%	230	18.1%
防犯活動	41	3.2%	997	78.6%	231	18.2%
防災活動	98	7.7%	936	73.8%	235	18.5%
防火活動	49	3.9%	987	77.8%	233	18.4%

図表 34　現在の参加（実施）割合



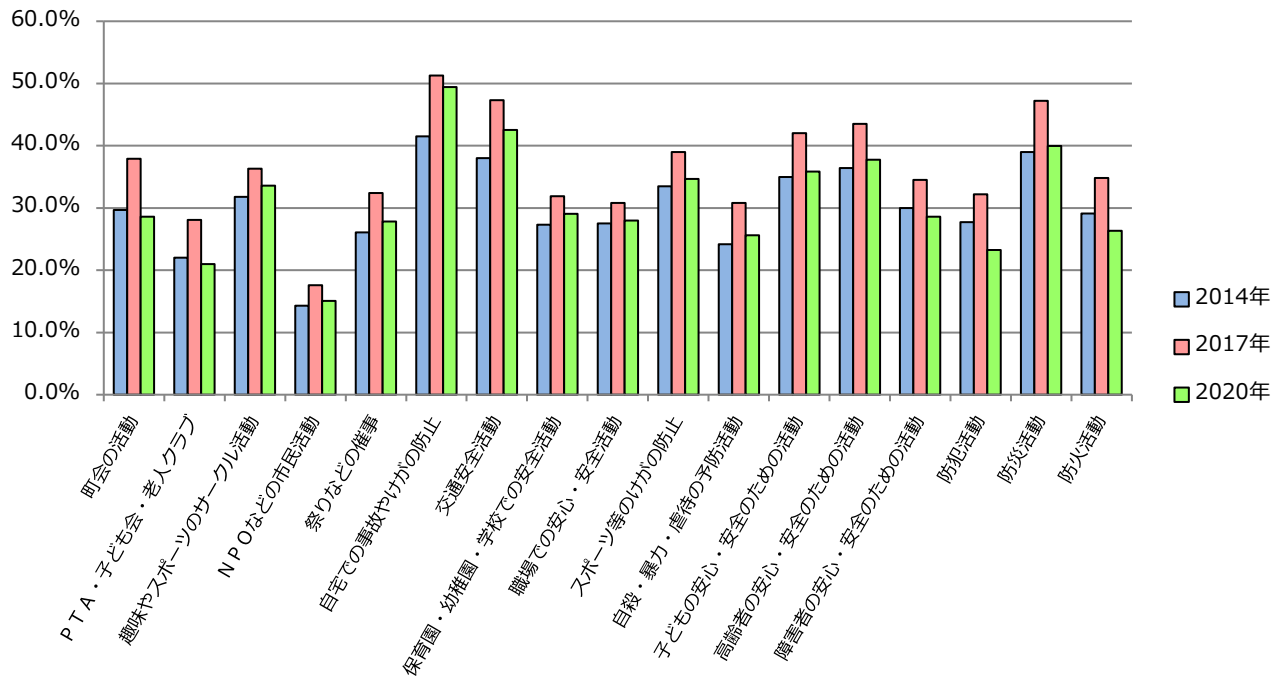
問：地域活動、安心・安全のための地域活動に関し、「今後」の参加（実施）意思状況

今後参加したいと「思う」と回答した割合が最も多いのは「自宅での事故やけがの防止」であり、49.4%である。次いで「交通安全活動」が 42.6%、「防災活動」が 40.0%である。

図表 35　今後の参加（実施）意思

	思う		思わない		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
町会の活動	363	28.6%	662	52.2%	244	19.2%
ＰＴＡ・子ども会・老人クラブなどの活動	266	21.0%	786	61.9%	217	17.1%
趣味やスポーツのサークル活動	426	33.6%	629	49.6%	214	16.9%
ＮＰＯなどの市民活動	191	15.1%	851	67.1%	227	17.9%
祭りなどの催事	353	27.8%	699	55.1%	217	17.1%
自宅での事故やけがの防止	627	49.4%	395	31.1%	247	19.5%
交通安全活動	540	42.6%	503	39.6%	226	17.8%
保育園・幼稚園・学校での安全活動	369	29.1%	655	51.6%	245	19.3%
職場での安心・安全活動	355	28.0%	611	48.1%	303	23.9%
余暇・スポーツ・レジャーでのけがの防止	440	34.7%	577	45.5%	252	19.9%
自殺・暴力・虐待の予防活動	325	25.6%	699	55.1%	245	19.3%
子どもの安心・安全のための活動	455	35.9%	574	45.2%	240	18.9%
高齢者の安心・安全のための活動	479	37.7%	556	43.8%	234	18.4%
障害者の安心・安全のための活動	363	28.6%	666	52.5%	240	18.9%
防犯活動	295	23.2%	735	57.9%	239	18.8%
防災活動	507	40.0%	526	41.4%	236	18.6%
防火活動	334	26.3%	703	55.4%	232	18.3%

図表 36　今後の参加（実施）割合



10. 事故・犯罪・災害の経験や意識について

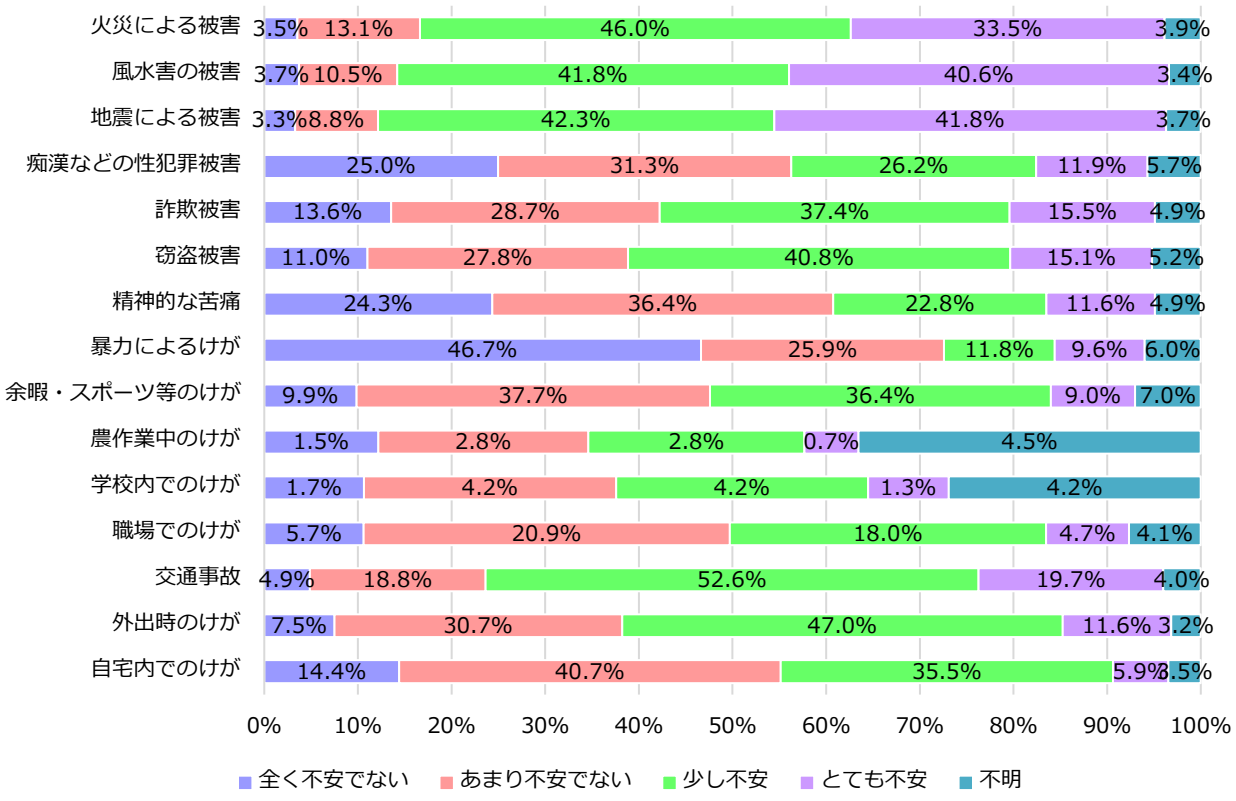
問：松原市において、各項目についてどの程度不安を感じていますか？

自然災害に対し「少し不安」「とても不安」と回答した人の割合は８割以上と最も高い。

図表 37　けがや事故、犯罪、災害被害に対する不安の程度

	全く不安でない		あまり不安でない		少し不安		とても不安		該当しない	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
自宅内でのけが	183	14.4%	517	40.7%	450	35.5%	75	5.9%	-	-
外出時のけが	95	7.5%	390	30.7%	597	47.0%	147	11.6%	-	-
交通事故	62	4.9%	238	18.8%	668	52.6%	250	19.7%	-	-
職場でのけが	72	5.7%	265	20.9%	229	18.0%	60	4.7%	591	46.6%
学校内でのけが	21	1.7%	53	4.2%	53	4.2%	17	1.3%	1,072	84.5%
農作業中のけが	19	1.5%	35	2.8%	36	2.8%	9	0.7%	1,113	87.7%
余暇・スポーツでのけが	125	9.9%	479	37.7%	462	36.4%	114	9.0%	-	-
暴力によるけが	592	46.7%	329	25.9%	150	11.8%	122	9.6%	-	-
精神的な苦痛	309	24.3%	462	36.4%	289	22.8%	147	11.6%	-	-
窃盗被害	140	11.0%	353	27.8%	518	40.8%	192	15.1%	-	-
詐欺被害	172	13.6%	364	28.7%	474	37.4%	197	15.5%	-	-
痴漢などの性犯罪被害	317	25.0%	397	31.3%	332	26.2%	151	11.9%	-	-
地震による被害	42	3.3%	112	8.8%	537	42.3%	531	41.8%	-	-
風水害の被害	47	3.7%	133	10.5%	531	41.8%	515	40.6%	-	-
火災による被害	45	3.5%	166	13.1%	584	46.0%	425	33.5%	-	-

図表 38　けがや事故、犯罪、災害被害に対する不安の程度



問：過去１年間に、松原市内において犯罪の被害にあったことがありますか？（複数回答）

犯罪被害に遭った人の中で最も多いのは男女とも「自転車の盗難」であり、全体の 3.1%となっている。

図表 39　男女別過去 1 年間の犯罪被害

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
ひったくり	5	0.4%	0	0.0%	5	0.7%	0	0.0%
自転車の盗難	39	3.1%	18	4.0%	20	2.6%	1	2.0%
オートバイの盗難	9	0.7%	7	1.5%	1	0.1%	1	2.0%
自動車の盗難	8	0.6%	3	0.7%	5	0.7%	0	0.0%
傷害・暴行	2	0.2%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
器物破損	25	2.0%	12	2.6%	12	1.6%	1	2.0%
車上あらし	19	1.5%	11	2.4%	6	0.8%	2	4.0%
空き巣・忍び込み	17	1.3%	11	2.4%	5	0.7%	1	2.0%
痴漢	6	0.5%	1	0.2%	5	0.7%	0	0.0%
特殊詐欺	9	0.7%	2	0.4%	6	0.8%	1	2.0%
その他	27	2.1%	6	1.3%	20	2.6%	1	2.0%
あったことはない	1,031	81.2%	359	79.1%	638	83.9%	34	68.0%
不明	97	7.6%	38	8.4%	49	6.4%	10	20.0%

犯罪被害に遭った人の中で最も件数の多い「自転車の盗難」は、ほとんどの年齢層において一番多い。

図表 40　年齢別過去 1 年間の犯罪被害

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
ひったくり	0	0	0	0	0	0	4	1	0
自転車の盗難	0	3	4	3	7	7	11	4	0
オートバイの盗難	0	1	0	0	0	3	5	0	0
自動車の盗難	0	2	1	0	1	2	1	1	0
傷害・暴行	0	0	0	0	0	2	0	0	0
器物破損	0	2	2	4	6	7	3	1	0
車上あらし	0	0	1	2	3	5	8	0	0
空き巣・忍び込み	0	0	0	2	3	2	8	2	0
痴漢	1	2	0	1	0	1	1	0	0
その他	0	0	0	0	3	1	3	2	0
あったことはない	1	0	3	4	2	4	6	7	1
不明	0	5	9	10	10	7	35	18	3

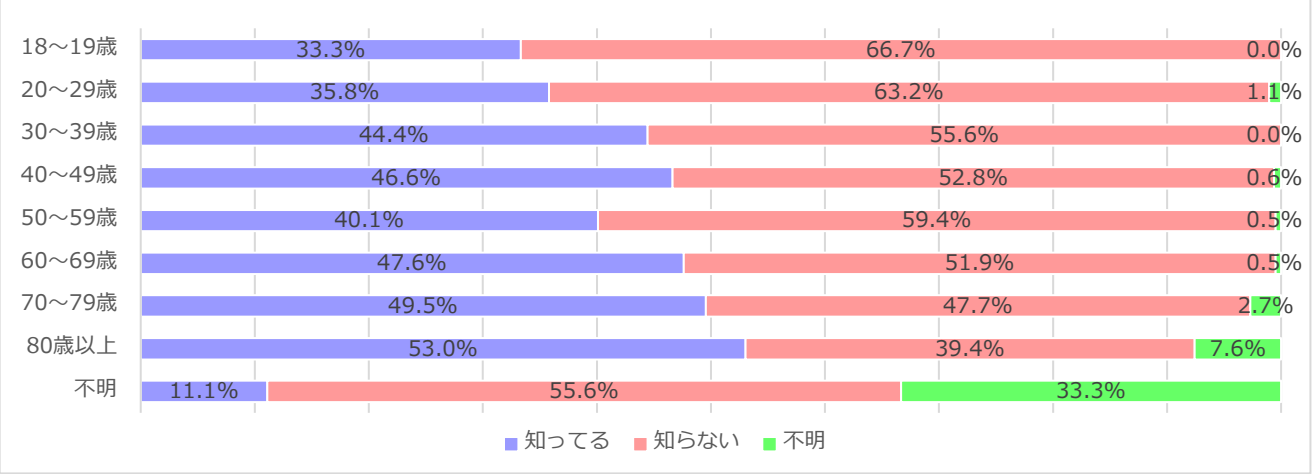
問：夜間に自宅の外灯や玄関灯を点灯し、犯罪を予防する「一戸一灯運動」を知っていますか？

「一戸一灯運動」の認知度は 60 歳以上で高くなっている。また、市全体の認知度は 45.8%であった。

図表 41　年齢別「一戸一灯運動」認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
知っている	4	34	48	76	83	100	165	70	1
知らない	8	60	60	86	123	109	159	52	5
不明	0	1	0	1	1	1	9	10	3

図表 42　「一戸一灯運動」認知度



図表 43　地域別「一戸一灯運動」認知度

	知っている	知らない	不明
丹南	10	10	0
岡	29	33	2
新堂	27	20	0
立部	16	13	0
上田	33	49	1
阿保	41	39	2
西大塚	5	11	0
柴垣	14	15	0
田井城	24	26	2
河合	27	17	0
高見の里	29	29	1
松ヶ丘	20	35	0
天美我堂	33	40	0
天美東	33	53	0
天美南	23	34	2
天美西	23	7	1

	知っている	知らない	不明
天美北	22	23	2
大堀	8	4	0
別所	11	14	0
一津屋	25	27	1
小川	12	13	1
若林	1	1	0
東新町	31	32	2
南新町	10	15	0
北新町	25	28	1
三宅東	3	3	0
三宅中	22	27	0
三宅西	7	10	0
西野々	5	12	0
不明	12	22	8
合計	581	662	26
割合	45.8%	52.2%	2.0%

問：犯罪に対して、どのような備えをしていますか？（複数回答）

犯罪への対策は、「外出や就寝時の戸締り」が 85.6%と最も多い。次いで「自転車の施錠」「自転車の防犯登録」となっている。

図表 44　犯罪への対策

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
自転車の防犯登録	875	69.0%	311	68.1%	536	70.3%	28	56.0%
自転車の施錠	911	71.8%	338	74.0%	541	71.0%	32	64.0%
防犯ブザーの携帯	52	4.1%	13	2.8%	38	5.0%	1	2.0%
外出や就寝時の戸締り	1,086	85.6%	391	85.6%	659	86.5%	36	72.0%
夜間に外灯や玄関灯を点灯	579	45.6%	212	46.4%	354	46.5%	13	26.0%
防犯カメラの設置	83	6.5%	33	7.2%	46	6.0%	4	8.0%
防犯フィルム・防犯ガラスの利用	65	5.1%	32	7.0%	31	4.1%	2	4.0%
民間セキュリティサービスの利用	45	3.5%	10	2.2	31	4.1%	4	8.0%
家財、自動車盗難など犯罪に備えた保険加入	390	30.7%	146	31.9%	233	30.6%	11	22.0%
防犯パトロール活動への参加	29	2.3%	18	3.9%	11	14%	0	0.0%
防犯に関する講習会への参加	22	1.7%	12	2.6%	9	1.2%	1	2.0%
特殊詐欺の対策	95	7.5%	44	9.6%	48	6.3%	3	6.0%
その他	18	1.4%	4	0.9%	13	1.7%	1	2.0%
何もしていない	34	2.7%	13	2.8%	20	2.6%	1	2.0%
不明	43	3.4%	14	3.1%	23	3.0%	6	12.0%

問：過去これまでに、災害で被災したことがありますか？（複数回答）

過去の災害経験が「ない」と回答した人の割合が最も多く、62.8%である。また、災害経験のある人のうち最も多いのは「風水害」であり、24.0%である。男女で差はみられない。

図表 45　過去の災害経験

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
地震災害	88	6.9%	37	8.1%	47	6.2%	4	8.0%
風水害	304	24.0%	131	28.7%	159	20.9%	14	28.0%
土砂災害	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
火災	23	1.8%	9	2.0	13	1.7%	1	2.0%
その他	20	1.6%	5	1.1%	15	2.0%	0	0.0%
ない	797	62.8%	264	57.8%	508	66.7%	25	50.0%
不明	78	6.1%	27	5.9%	43	5.6%	8	16.0%

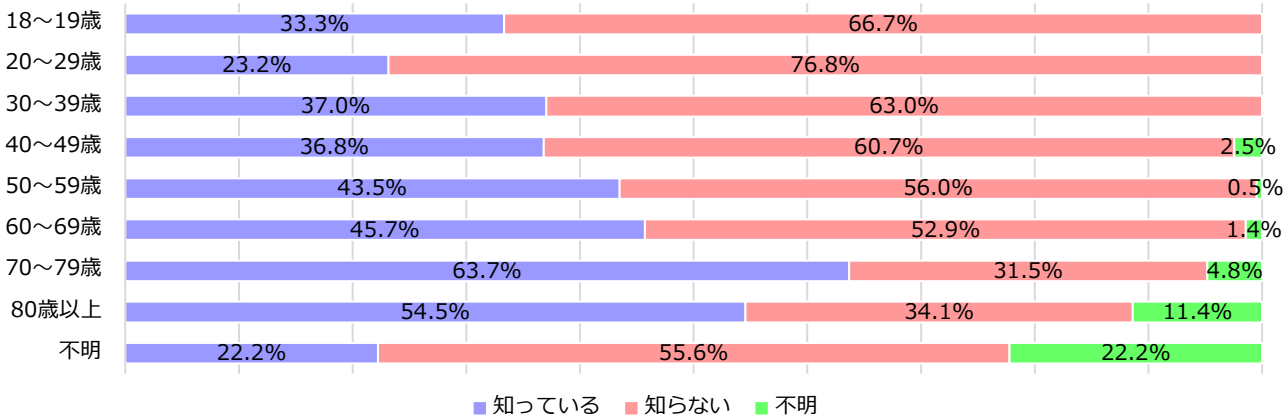
問：災害時に避難する際、自宅の両隣に声をかけ、逃げ遅れを防ぐ「両隣声かけ運動」を知っていますか？

「両隣声かけ運動」の認知度は「70～79 歳」で最も高い。市全体の認知度は 47.1%である。

図表 46　年齢別「両隣声かけ運動」認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
知っている	4	22	40	60	90	96	212	72	2
知らない	8	73	68	99	116	111	105	45	5
不明	0	0	0	4	1	3	16	15	2

図表 47　「両隣声かけ運動」認知度



図表 48　地域別「両隣声かけ運動」認知度

	知っている	知らない	不明
丹南	10	10	0
岡	29	33	2
新堂	22	24	1
立部	37	45	2
上田	37	45	1
阿保	39	41	2
西大塚	4	11	1
柴垣	13	16	0
田井城	24	21	7
河合	22	21	1
高見の里	33	24	2
松ヶ丘	20	35	0
天美我堂	33	38	2
天美東	35	49	2
天美南	31	24	4
天美西	21	10	0

	知っている	知らない	不明
天美北	27	20	0
大堀	8	4	0
別所	13	11	1
一津屋	26	27	0
小川	12	14	0
若林	1	1	0
東新町	35	26	4
南新町	11	14	0
北新町	20	31	3
三宅東	3	3	0
三宅中	22	25	2
三宅西	7	10	0
西野々	8	9	0
不明	21	17	4
合計	598	630	41
割合	47.1%	49.6%	3.2%

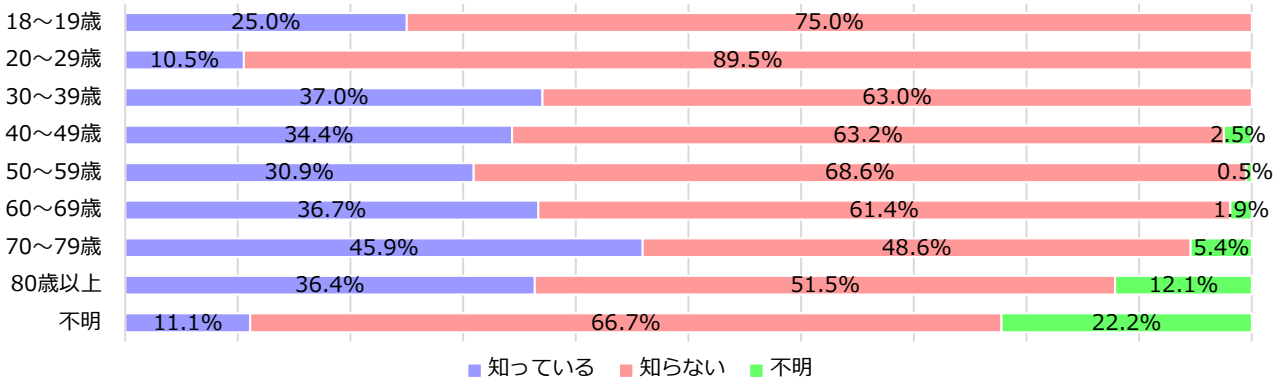
問：災害時に、この家には救助を必要とする者はいないことを示すために、玄関や門扉にタオルをくくる「タオル運動」を知っていますか？

「タオル運動」の認知度は「両隣声かけ運動」より低く、市全体の認知度は 35.6%である。

図表 49　年齢別「タオル運動」認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
知っている	3	10	40	56	64	77	153	48	1
知らない	9	85	68	103	142	129	162	68	6
不明	0	0	0	4	1	4	18	16	2

図表 50　「タオル運動」認知度



図表 51　地域別「タオル運動」認知度

	知っている	知らない	不明
丹南	10	10	0
岡	18	44	2
新堂	19	26	2
立部	7	20	2
上田	23	58	2
阿保	28	53	1
西大塚	3	12	1
柴垣	13	16	0
田井城	20	25	7
河合	33	10	1
高見の里	22	34	3
松ヶ丘	14	41	0
天美我堂	23	47	3
天美東	25	59	2
天美南	23	32	4
天美西	14	16	1

	知っている	知らない	不明
天美北	18	29	0
大堀	5	7	0
別所	9	15	1
一津屋	20	32	1
小川	10	16	0
若林	0	2	0
東新町	28	33	4
南新町	8	17	0
北新町	14	38	2
三宅東	4	2	0
三宅中	15	32	2
三宅西	4	13	0
西野々	7	10	0
不明	15	23	4
合計	452	772	45
割合	35.6%	60.8%	3.5%

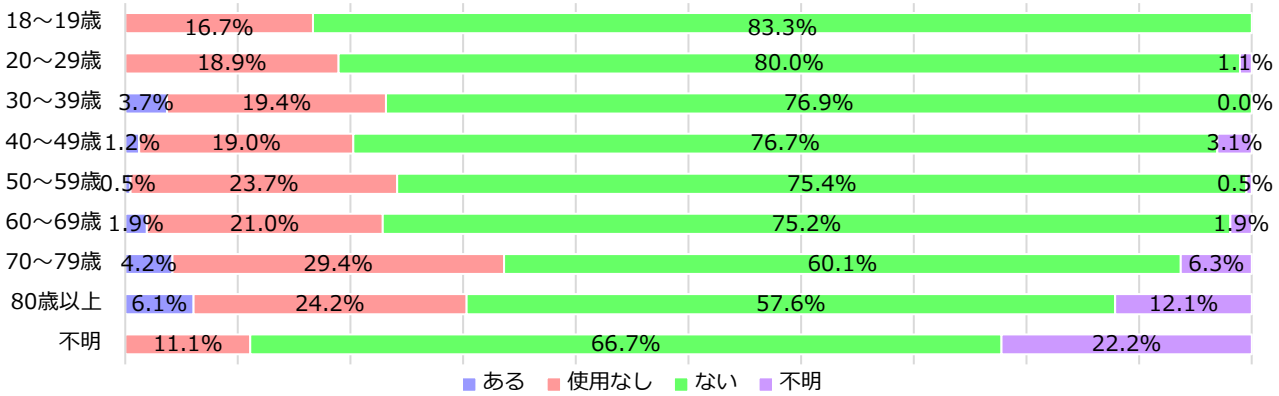
問：災害時や緊急時の緊急連絡先などを記入できる「もしもキット」や「もしもカード」を知っていますか？

「もしもキット」「もしもカード」の認知度は、市全体で 25.9%、使用しているのは 2.6%であった。

図表 52　年齢別「もしもキット」「もしもカード」認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
知っていて使用している	0	0	4	2	1	4	14	8	0
知っているが使用していない	2	18	21	31	49	44	98	32	1
知らない	10	76	83	125	156	158	200	76	6
不明	0	1	0	5	1	4	21	16	2

図表 53　「もしもキット」「もしもカード」認知度



図表 54　地域別「もしもキット」「もしもカード」認知度

	使用	使用なし	知らない	不明
丹南	0	10	10	0
岡	1	15	46	2
新堂	2	15	28	2
立部	1	6	20	2
上田	3	17	59	4
阿保	2	22	57	1
西大塚	1	1	13	1
柴垣	1	11	17	0
田井城	1	13	31	7
河合	4	14	25	1
高見の里	1	12	42	4
松ヶ丘	1	6	46	2
天美我堂	0	17	53	3
天美東	1	17	66	2
天美南	2	12	40	5
天美西	1	11	19	0

	使用	使用なし	知らない	不明
天美北	3	13	31	0
大堀	0	2	10	0
別所	0	5	19	1
一津屋	3	13	37	0
小川	0	8	18	0
若林	0	0	2	0
東新町	2	17	41	5
南新町	0	6	19	0
北新町	0	3	49	2
三宅東	0	2	4	0
三宅中	0	11	36	2
三宅西	2	4	11	0
西野々	0	3	14	0
不明	1	10	27	4
合計	33	296	890	50
割合	2.6%	23.3%	70.1%	3.9%

問：地震や風水害、火災などの災害に、どのような備えをしていますか？（複数回答）

自然災害への対策は、「火災保険の加入」が 67.9%と最も多い。次いで「非常持ち出し袋の用意」が 57.5%、「地震保険の加入」が 42.7%となっている。

図表 55　災害への対策

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
防災マップの確認	468	36.9%	170	13.4%	286	22.5%	12	24.0%
家具等の転倒防止対策	423	33.3%	158	12.5%	253	19.9%	12	24.0%
感震ブレーカーの設置	89	7.0%	41	3.2%	44	3.5%	4	8.0%
非常持ち出し袋の用意	730	57.5%	240	18.9%	467	36.8%	23	46.0%
食料の備蓄	438	34.5%	153	12.1%	275	21.7%	10	20.0%
建物の耐震診断	67	5.3%	33	2.6%	31	2.4%	3	6.0%
建物や塀の補強	52	4.1%	20	1.6%	30	2.4%	2	4.0%
ガラスの飛散防止	72	5.7%	33	2.6%	37	2.9%	2	4.0%
地震保険の加入	542	42.7%	190	15.0%	335	26.4%	17	34.0%
消火器の用意	296	23.3%	125	9.9%	163	12.8%	8	16.0%
住宅用火災警報器の設置	404	31.8%	154	12.1%	243	19.1%	7	14.0%
火災保険の加入	862	67.9%	315	24.8%	518	40.8%	29	58.0%
土のうの用意	20	1.6%	8	0.6%	12	0.9%	0	0.0%
避難経路・避難場所の確認	355	28.0%	132	10.4%	211	16.6%	12	24.0%
家族との集合場所・連絡方法の確認	340	26.8%	96	7.6%	232	18.3%	12	24.0%
自主防災組織への参加	21	1.7%	11	0.9%	10	0.8%	0	0.0%
隣近所と一緒に避難する方法を共有	50	3.9%	9	0.7%	38	3.0%	3	6.0%
防災訓練への参加	110	8.7%	44	3.5%	64	5.0%	2	4.0%
その他	6	0.5%	4	0.3%	2	0.2%	0	0.0%
何もしていない	69	5.4%	25	2.0%	39	3.1%	5	10.0%
不明	51	4.0%	18	1.4%	25	2.0%	8	16.0%

家具等の転倒防止対策では、すべての項目で実施している割合が全体回答者の 20%以下となっている。

図表 56　家具等の転倒防止対策

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
Ｌ字型金具で家具等を固定	119	9.4%	51	11.2%	66	8.7%	2	4.0%
突っ張り棒で家具等を固定	173	13.6%	62	13.6%	106	13.9%	5	10.0%
粘着シートで電化製品等を固定	98	7.7%	30	6.6%	65	8.5%	3	6.0%
寝室や長時間過ごす部屋には転倒・落下するような物を置かない	230	18.1%	79	17.3%	146	19.2%	5	10.0%
その他	17	1.3%	4	0.9%	13	1.7%	0	0.0%
不明	5	0.4%	3	0.7%	2	0.3%	0	0.0%

問：自転車に乗るのに、どのようなことに注意していますか？（複数回答）

自転車利用時の注意事項では「夜間はライトを点灯」と回答した人の割合が最も高く、70.4%である。また「ヘルメットを着用」は 1.7%である。

図表 57　男女別自転車利用時の注意事項

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
車道を走行している	333	26.2%	146	31.9%	171	22.4%	16	32.0%
左側を通行している	746	58.8%	281	61.5%	438	57.5%	27	54.0%
飲酒しない	592	46.7%	225	49.2%	347	45.5%	20	40.0%
並進しない	516	40.7%	187	40.9%	318	41.7%	11	22.0%
2 人乗りをしない	669	52.7%	260	56.9%	384	50.4%	25	50.0%
夜間はライトを点灯	893	70.4%	322	70.5%	542	71.1%	29	58.0%
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認	718	56.6%	272	59.5%	422	55.4%	24	48.0%
(傘差し、スマホなど) ながら運転をしない	519	40.9%	176	38.5%	325	42.7%	18	36.0%
ヘルメットを着用	22	1.7%	11	2.4%	11	1.4%	0	0.0%
自転車保険に加入	595	46.9%	210	46.0%	364	47.8%	21	42.0%
その他	12	0.9%	5	1.1%	7	0.9%	0	0.0%
何もしていない	9	0.7%	3	0.7%	5	0.7%	1	2.0%
自転車に乗らない	170	13.4%	47	10.3%	115	15.1%	8	16.0%
不明	31	2.4%	12	2.6%	13	1.7%	6	12.0%

70 歳以上では「自転車に乗らない」という回答の割合が高い。

図表 58　年齢別自転車利用時の注意事項

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
車道を走行している	5	25	24	18	31	33	28	7
左側を通行している	5	30	50	60	69	82	122	20
飲酒しない	2	34	47	54	54	65	81	10
並進しない	4	28	40	51	58	57	70	10
2 人乗りをしない	6	32	33	52	73	79	97	12
夜間はライトを点灯	6	43	69	89	93	95	129	18
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認	5	30	41	56	68	82	120	20
(傘差し、スマホなど) ながら運転をしない	5	21	39	50	45	68	86	11
ヘルメットを着用	0	0	4	2	0	0	2	3
自転車保険に加入	3	27	41	68	69	66	82	8
その他	0	0	1	0	1	1	3	1
何もしていない	0	1	0	2	0	1	1	0
自転車に乗らない	0	5	4	3	14	12	32	45
不明	0	0	0	0	0	2	10	1

問：あなたは、過去５年間に眠れないほど悩むことがありましたか？

過去５年間に眠れないほど悩んだ経験が「あった」と回答した人の割合は 30.3%であり、男女で比較すると女性のほうが男性より割合が高い傾向がみられる。

図表 59　過去５年間に眠れないほど悩んだ経験

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
あった	384	30.3%	112	24.5%	256	33.6%	16	32.0%
なかった	835	65.8%	325	71.1%	485	63.6%	25	50.0%
不明	50	3.9%	20	4.4%	21	2.8%	9	18.0%
合計	1,269	100.0%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

問：「１．悩むことがあった」と回答された方にお尋ねします。そのとき誰に相談しましたか？
（複数回答）

過去５年間に眠れないほど悩んだ経験が「あった」と回答した人のうち、「家族・親族」に相談する人の割合が最も多く、51.8%である。また、次いで多いのが、女性では「友人」であるのに対し、男性では「相談しなかった」である。

図表 60　過去５年間に眠れないほど悩んだ経験があった人の相談先

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
家族・親族	199	51.8%	49	43.8%	144	56.3%	6	37.5%
友人	96	25.0%	15	13.4%	76	29.7%	5	31.3%
知人	23	6.0%	5	4.5%	17	6.6%	1	6.3%
学校の先生等	4	1.0%	2	1.8%	2	0.8%	0	0.0%
インターネット	10	2.6%	5	4.5%	5	2.0%	0	0.0%
行政の相談窓口	20	5.2%	6	5.4%	13	5.1%	1	6.3%
職場の同僚	24	6.3%	5	4.5%	18	7.0%	1	6.3%
医師	39	10.2%	16	14.3%	21	8.2%	2	12.5%
専門相談員	12	3.1%	5	4.5%	6	2.3%	1	6.3%
相談しなかった	90	23.4%	40	35.7%	49	19.1%	1	6.3%
その他	13	3.4%	4	3.6%	8	3.1%	1	6.3%
不明	6	1.6%	1	0.9%	5	2.0%	1	6.3%

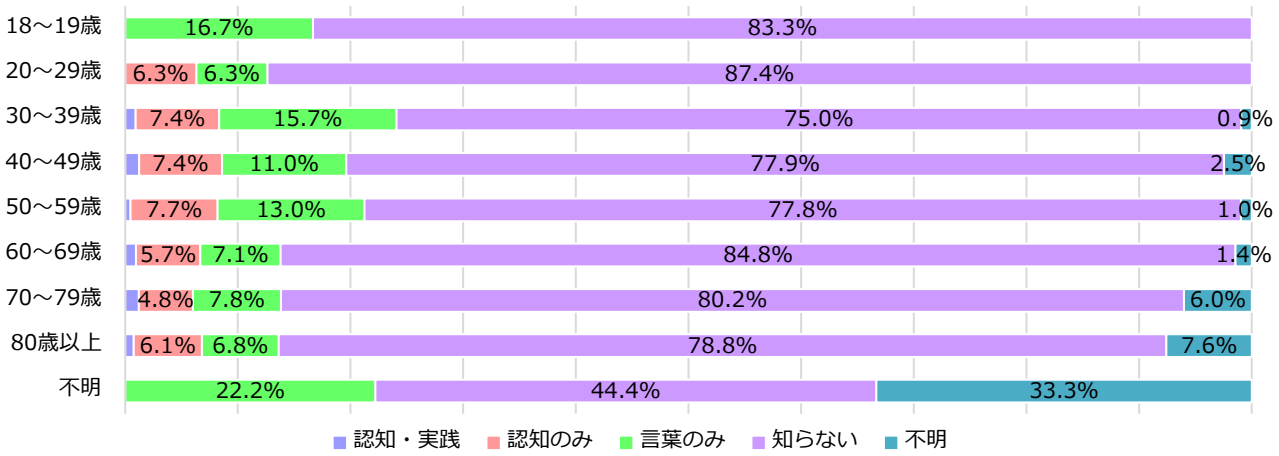
問：「ゲートキーパー」という言葉を知っていますか？

「ゲートキーパー」の認知度は、市全体で 7.0%、そのうち実践をしているのは 0.9%である。また、認知とまではいかないが言葉を聞いたことがある人は 9.6%である。他年齢層と比べ 30～59 歳の年齢層で認知度の割合が高い。

図表 61　年齢別「ゲートキーパー」認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
認知・実践	0	0	1	2	1	2	4	1	0
認知のみ	0	6	8	12	16	12	16	8	0
言葉のみ	2	6	17	18	27	15	26	9	2
知らない	10	83	81	127	161	178	267	104	4
不明	0	0	1	4	2	3	20	10	3

図表 62　「ゲートキーパー」認知度



問：もし身近な人から「死にたい」と相談されたときにどのような対応をしますか？（複数回答）

相談された時の対応は、「ひたすら耳を傾けて聴く」が 61.4%と最も高くなっている。次いで説得・励ますといった対応が多くなっており、逆に相談者を追い込んでしまう可能性がある。

図表 63　相談時の対応

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
「死んではいけない」と説得したり、「頑張って生きよう」と励ます	440	34.7%	169	37.0%	246	32.3%	25	50.5%
ひたすら耳を傾けて聴く	779	61.4%	253	55.4%	509	66.8%	17	34.0%
相談できるところを紹介する	414	32.6%	146	31.9%	256	33.6%	12	24.0%
その他	58	4.6%	18	3.9%	37	4.9%	3	6.0%
不明	84	6.6%	31	6.8%	43	5.6%	10	20.0%

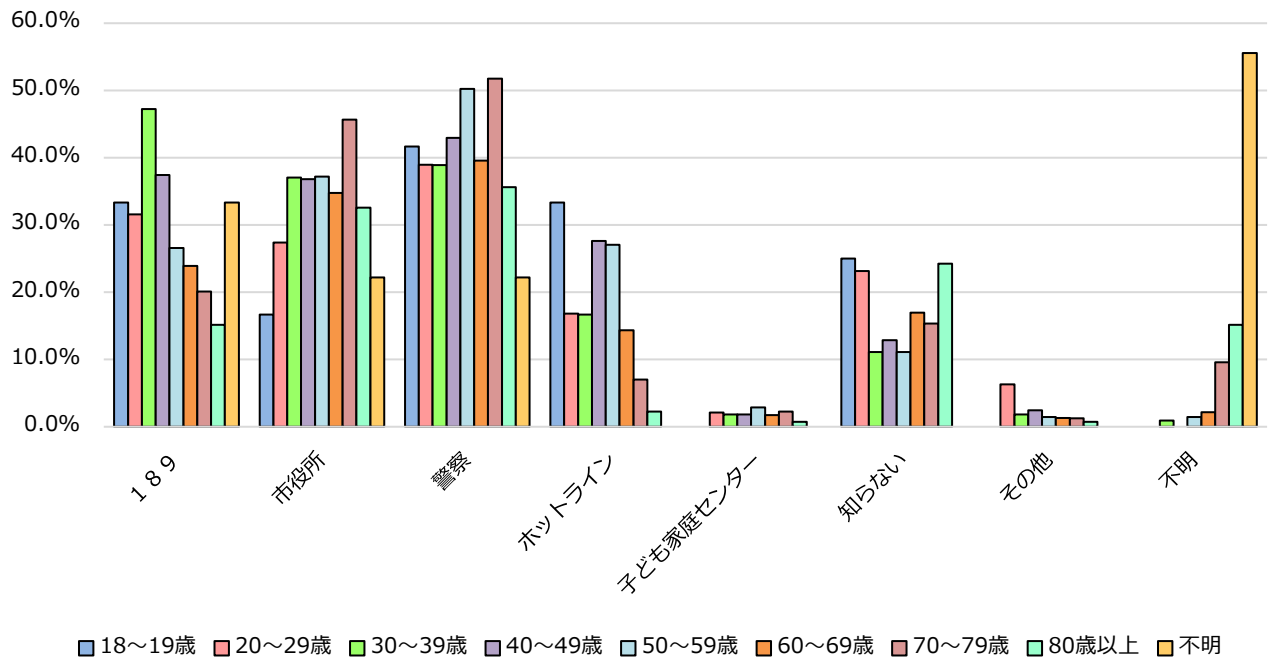
問：「児童虐待」を見たり、聞いたりしたときの相談窓口を知っていますか？

「児童虐待」相談窓口について「警察」に相談すると回答した割合が 44.1%と最も高く、次いで「市役所」で 37.3%である。また、30 歳～59 歳の間では他の年齢層に比べ、児童虐待の相談窓口について知らない（わからない）と回答した割合が低くなっている。

図表 64　年齢別「児童虐待」相談窓口認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
１８９（児童相談所虐待対応ダイヤル）	4	30	51	61	55	55	63	20	3
市役所	2	26	40	60	77	80	143	43	2
警察	5	37	42	70	104	91	162	47	2
子どもの虐待ホットライン	4	16	18	45	56	33	22	3	0
富田林子ども家庭センター	0	2	2	3	6	4	7	1	0
知らない	3	22	12	21	23	39	48	32	0
その他	0	6	2	4	3	3	4	1	0
不明	0	0	1	0	3	5	30	20	5

図表 65　「児童虐待」相談窓口認知度



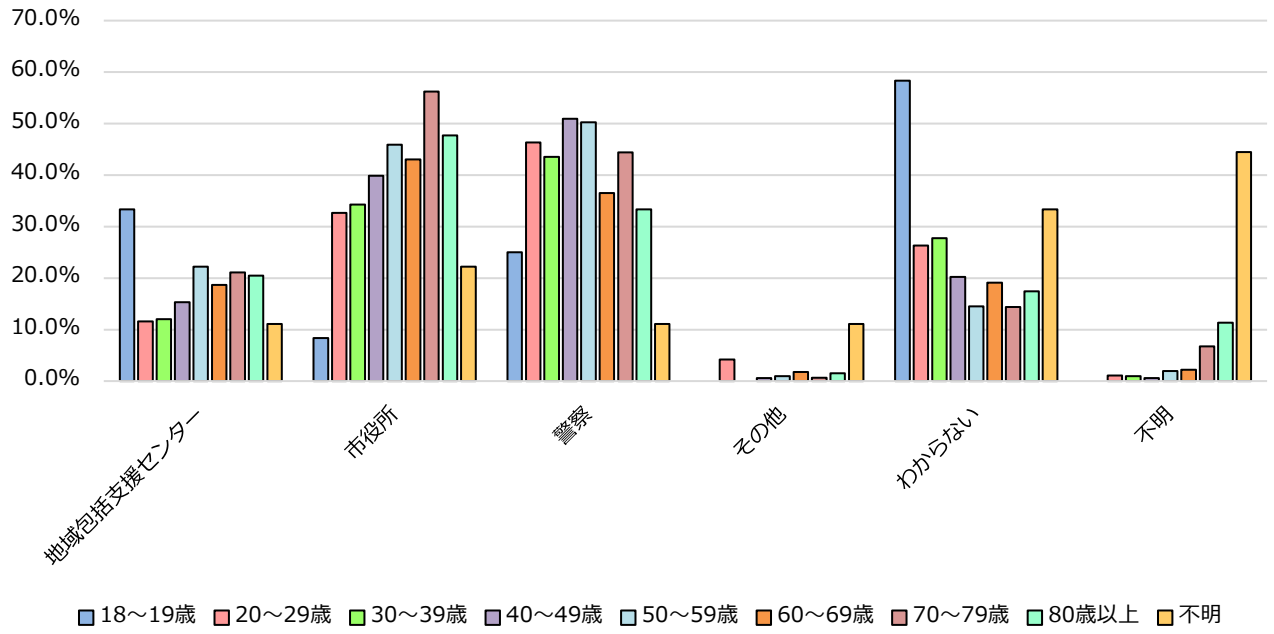
問：「高齢者虐待」を見たり、聞いたりしたときの相談窓口を知っていますか？

「高齢者虐待」相談窓口について「市役所」に相談すると回答した割合が 44.8%と最も高く、次いで「警察」で 43.3%である。また、「知らない」と答えた割合は、49 歳までの世代において高く、年齢があがるにつれて割合は低くなる。

図表 66　年齢別「高齢者虐待」相談窓口認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
地域包括支援センター	4	11	13	25	46	43	66	27	1
市役所	1	31	37	65	95	99	176	63	2
警察	3	44	47	83	104	84	139	44	1
その他	0	4	0	1	2	4	2	2	1
知らない	7	25	30	33	30	44	45	23	3
不明	0	1	1	1	4	5	21	15	4

図表 67　「高齢者虐待」相談窓口認知度



問：過去１年間に、事故やけがなどを経験しましたか？

過去１年間にけがをした経験がある人の割合は 11.9%であり、男女で差はない。

図表 68　過去１年間のけがをした経験

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
ある	151	11.9%	51	11.2%	91	11.9%	9	18.0%
ない	1,032	81.3%	374	81.8%	627	82.3%	31	62.0%
不明	86	6.8%	32	7.0%	44	5.8%	10	20.0%
合計	1,269	100.0%	457	100.0%	762	100.0%	50	100.0%

①　けがの原因

けがの原因で最も多いのは「転倒」で、32.1%である。次いで「交通事故」が多く 15.8%である。

図表 69　男女別けがの原因　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
交通事故	33	15.8%	10	15.9%	20	15.5%	3	17.6%
転倒	67	32.1%	17	27.0%	43	33.3%	7	41.2%
転落	20	9.6%	6	9.5%	13	10.1%	1	5.9%
挟まれ・巻き込まれ	2	1.0%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%
人・物との接触・衝突	17	8.1%	4	6.3%	12	9.3%	1	5.9%
刃物等で切って	16	7.7%	6	9.5%	9	7.0%	1	5.9%
火・熱湯等の熱源	4	1.9%	0	0.0%	4	3.1%	0	0.0%
虫や動物に刺され･咬まれ	6	2.9%	2	3.2%	4	3.1%	0	0.0%
異物の誤飲	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ものをつまらせた	1	0.5%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
暴行	1	0.5%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
無理な頑張りにより	21	10.0%	8	12.7%	12	9.3%	1	5.9%
おぼれ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	8	3.8%	2	3.2%	4	3.1%	2	11.8%
不明	13	6.2%	7	11.1%	5	3.9%	1	5.9%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

けがの原因で最も多い「転倒」は特に高齢者の受傷で割合が高い傾向があり、70 歳では 40.4%、80 歳以上の受傷の中では 65.4%を占めている。

図表 70　年齢別けがの原因　（単位：件）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
交通事故	0	4	3	3	9	7	6	0	1
転倒	2	2	3	3	8	9	23	17	0
転落	0	2	1	4	4	2	6	1	0
挟まれ・巻き込まれ	0	0	0	1	0	1	0	0	0
人・物との接触・衝突	1	0	4	2	3	6	1	0	0
刃物等で切って	0	1	4	1	1	5	3	1	0
火・熱湯等の熱源	0	2	0	1	0	1	0	0	0
虫や動物に刺され･咬まれ	0	2	0	0	1	1	2	0	0
異物の誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ものをつまらせた	0	0	0	0	0	0	0	1	0
暴行	0	0	0	0	0	1	0	0	0
無理な頑張りにより	0	0	1	3	6	1	7	3	0
おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	1	1	1	3	1	0
不明	0	0	0	1	3	1	6	2	0
合計	3	14	16	20	36	36	57	26	1

② けがの場所

市内でのけがが 64.1%と多く、受傷場所は「自宅（屋内）」「道路・歩道」が 28.2%と最も多い。また、女性は「自宅（屋内）」での受傷が多く、男性は「仕事場」での受傷が多い。

図表 71　男女別けがの場所　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
自宅（屋内）	59	28.2%	17	27.0%	36	27.9%	6	35.3%
自宅（屋外）及びその周辺	28	13.4%	8	12.7%	20	15.5%	0	0.0%
道路・歩道	59	28.2%	12	19.0%	38	29.5%	9	59.9%
商業・飲食・娯楽施設	6	2.9%	1	1.6%	5	3.9%	0	0.0%
学校・幼稚園・保育所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
公園	5	2.4%	1	1.6%	4	3.1%	0	0.0%
スポーツ施設	6	2.9%	3	4.8%	3	2.3%	0	0.0%
駅・バス停	3	1.4%	2	3.2%	1	0.8%	0	0.0%
農地	3	1.4%	3	4.8%	0	0.0%	0	0.0%
仕事場	15	7.2%	6	9.5%	8	6.2%	1	5.9%
海	3	1.4%	0	0.0%	3	2.3%	0	0.0%
山	3	1.4%	1	1.6%	2	1.6%	0	0.0%
川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	5	2.4%	2	3.2%	3	2.3%	0	0.0%
不明	14	6.7%	7	11.1%	6	4.7%	1	5.9%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

図表 72　男女別けがの場所　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
市内	134	64.1%	36	57.1%	84	65.1%	14	82.4%
市外	34	16.3%	12	19.0%	21	16.3%	1	5.9%
不明	41	19.6%	15	23.8%	24	18.6%	2	11.8%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

年齢が上がるにつれ、「自宅（屋内）」での受傷の割合が高い。また、「道路・歩道」でのけがの割合が50~79 歳において高い。

図表 73　年齢別けがの場所　（単位：件）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
自宅（屋内）	1	0	7	5	7	12	18	9	0
自宅（屋外）及びその周辺	0	2	2	3	4	3	8	6	0
道路・歩道	1	3	4	2	11	12	18	7	1
商業・飲食・娯楽施設 0	0	1	0	2	1	0	2	0	0
学校・幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公園	0	0	1	2	1	1	0	0	0
スポーツ施設	1	0	0	1	4	0	0	0	0
駅・バス停	0	1	0	0	0	1	1	0	0
農地	0	0	0	0	0	0	3	0	0
仕事場	0	4	0	4	3	3	1	0	0
海	0	1	1	0	0	1	0	0	0
山	0	0	0	0	0	2	0	1	0
川	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	0	2	0	0	0	0
不明	0	0	0	1	3	1	6	3	0
合計	3	14	16	20	36	36	57	26	1

図表 74　年齢別けがの場所　（単位：件）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
市内	2	7	14	11	24	22	40	14	0
市外	1	4	1	4	8	9	4	3	0
不明	0	3	1	5	4	5	13	9	1
合計	3	14	16	20	36	36	57	26	1

「道路・歩道」における「転倒」「交通事故」が最も多い。また、「転倒」によるけがは「道路・歩道」に次いで「自宅（屋外）及びその周辺」、「自宅（屋内）」で多い。

図表 75　原因別けがの場所　（単位：件）

	交通事故	転倒	転落	挟まれ・巻き込まれ	人・物との接触・衝突	刃物等で切って	火・熱湯等の熱源	虫や動物に刺され・咬まれ	異物などの誤飲	ものをつまらせた	暴行	無理な頑張りにより	おぼれ	その他	不明
自宅（屋内）	0	16	11	1	7	10	1	3	0	1	1	6	0	2	0
自宅（屋外）及びその周辺	5	16	1	0	2	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0
道路・歩道	24	24	0	0	5	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
商業・飲食・娯楽施設	0	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公園	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ施設	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0
駅・バス停	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
農地	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
仕事場	1	1	2	1	0	4	3	0	0	0	0	2	0	1	0
海	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
山	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
合計	33	67	20	2	17	16	4	6	0	1	1	21	0	8	13

図表 76　原因別けがの場所　（単位：件）

	交通事故	転倒	転落	挟まれ・巻き込まれ	人・物との接触・衝突	刃物等で切って	火・熱湯等の熱源	虫や動物に刺され・咬まれ	異物などの誤飲	ものをつまらせた	暴行	無理な頑張りにより	おぼれ	その他	不明
市内	19	51	12	2	13	13	3	3	0	0	0	13	0	5	0
市外	9	8	2	0	1	2	1	2	0	0	0	6	0	3	0
不明	5	8	6	0	3	1	0	1	0	1	1	2	0	0	13
合計	33	67	20	2	17	16	4	6	0	1	1	21	0	8	13

③ 受傷時の行動

「在宅中」のけがが最も多く、22.0%である。男女で比較すると女性の方が男性より「自転車乗車中」と「歩行中」のけがが多い傾向がある。

図表 77　男女別受傷時の行動　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
在宅中	46	22.0%	13	20.6%	29	22.5%	4	23.5%
仕事中	19	9.1%	7	11.1%	11	8.5%	1	5.8%
学校・幼稚園・保育所活動中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
運動中	8	3.8%	4	6.3%	4	3.1%	0	0.0%
遊び・レジャー中	14	6.7%	3	4.8%	11	8.5%	0	0.0%
自動車乗車中	19	9.1%	7	11.1%	10	7.8%	2	11.8%
自転車乗用中	35	16.7%	6	9.5%	27	20.9%	2	11.8%
歩行中	26	12.4%	5	7.9%	19	14.7%	2	11.8%
その他	21	10.0%	9	14.3%	10	7.8%	2	11.8%
不明	21	10.0%	9	14.3%	8	6.2%	4	23.5%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

「在宅中」のけがは年齢が上がるにつれ多い傾向がある。また、「自転車乗用中」のけがは 50 歳以上に多い。

図表 78　年齢別受傷時の行動　（単位：件）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
在宅中	1	0	6	5	8	9	15	2	0
仕事中	0	4	0	5	3	4	3	0	0
学校・幼稚園等活動中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動中	1	0	0	3	3	0	1	0	0
遊び・レジャー中	0	4	2	1	3	2	1	1	0
自動車乗車中	0	2	4	3	3	1	5	0	1
自転車乗用中	1	2	2	2	8	7	9	4	0
歩行中	0	2	0	0	3	6	8	7	0
その他	0	0	2	0	2	4	5	8	0
不明	0	0	0	1	3	3	10	4	0
合計	3	14	16	20	36	36	57	26	1

「歩行中」「自転車乗用中」の「転倒」が多く、次いで「自動車乗車中」「自転車乗車中」の「交通事故」が多い傾向にある。

図表 79　原因別受傷時の行動　（単位：件）

	交通事故	転倒	転落	挟まれ・巻き込まれ	人・物との接触・衝突	刃物等で切って	火・熱湯等の熱源	虫や動物に刺され・咬まれ	異物などの誤飲	ものをつまらせた	暴行	無理な頑張りにより	おぼれ	その他	不明
在宅中	0	11	10	1	7	8	1	3	0	0	0	3	0	2	0
仕事中	0	2	3	1	1	4	3	0	0	0	0	4	0	1	0
学校・幼稚園等活動中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動中	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
遊び・レジャー中	0	2	4	0	1	1	0	2	0	0	0	3	0	1	0
自動車乗車中	16	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自転車乗用中	13	16	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
歩行中	2	18	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
その他	2	9	1	0	1	3	0	0	0	1	1	2	0	1	0
不明	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	13
合計	33	67	20	2	17	16	4	6	0	1	1	21	0	8	13

④　受傷の時期

受傷時期をみると、「10～12 月頃」が最も多くなっている。また、男性は「4～6 月頃」の受傷が最も少なく、女性では「1～3 月頃」の受傷が最も少なくなっている。

図表 80　男女別受傷時期　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
1～3 月頃	35	16.7%	16	25.4%	19	14.7%	0	0.0%
4～6 月頃	38	18.2%	8	12.7%	29	22.5%	1	5.9%
7～9 月頃	49	23.4%	14	22.2%	32	24.8%	3	17.6%
10～12 月頃	57	27.3%	17	27.0%	33	25.6%	7	41.2%
不明	30	14.4%	8	12.7%	16	12.4%	6	35.3%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

受傷件数の多い「10~12 月頃」は、「交通事故」「転倒」による受傷が多い。

図表 81　原因別受傷時期　（単位：件）

	交通事故	転倒	転落	挟まれ・巻き込まれ	人・物との接触・衝突	刃物等で切って	火・熱湯等の熱源	虫や動物に刺され・咬まれ	異物などの誤飲	ものをつまらせた	暴行	無理な頑張りにより	おぼれ	その他	不明
1～3 月頃	5	13	3	1	4	3	1	0	0	0	0	4	0	1	0
4～6 月頃	8	12	3	0	5	3	1	1	0	0	0	4	0	1	0
7～9 月頃	6	12	7	0	2	7	2	4	0	1	1	5	0	2	0
10～12 月頃	12	21	6	1	5	3	0	0	0	0	0	6	0	3	0
不明	2	9	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	1	13
合計	33	67	20	2	17	16	4	6	0	1	1	21	0	8	13

⑤受傷の時間帯

「昼（12～16 時頃）」の受傷が多く、男女で受傷時間帯に大きな差はみられない。

図表 82　男女別受傷時間帯　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
早朝（4～8 時頃）	11	5.3%	5	7.9%	6	4.7%	0	0.0%
朝（8～12 時頃）	48	23.0%	15	23.8%	29	22.5%	4	23.5%
昼（12～16 時頃）	60	28.7%	14	22.2%	40	31.0%	6	35.3%
夕方（16～20 時頃）	48	23.0%	14	22.2%	33	25.6%	1	5.9%
夜（20～24 時頃）	18	8.6%	6	9.5%	11	8.5%	1	5.9%
深夜（24～4 時頃）	3	1.4%	2	3.2%	1	0.8%	0	0.0%
不明	21	10.0%	7	11.1%	9	7.0%	5	29.4%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

「朝（8～12 時頃）」と「夕方（16～20 時頃）」では「交通事故」と「転倒」、「昼（12～16 時頃）」では「転倒」によるけがが比較的多い。

図表 83　原因別受傷時間帯　（単位：件）

	交通事故	転倒	転落	挟まれ・巻き込まれ	人・物との接触・衝突	刃物等で切って	火・熱湯等の熱源	虫や動物に刺され・咬まれ	異物などの誤飲	ものをつまらせた	暴行	無理な頑張りにより	おぼれ	その他	不明
早朝（4～8 時頃）	1	6	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
朝（8～12 時頃）	10	13	5	1	2	7	2	0	0	1	0	6	0	1	0
昼（12～16 時頃）	6	24	5	1	8	5	1	2	0	0	0	6	0	2	0
夕方（16～20 時頃）	14	12	6	0	1	4	1	1	0	0	0	6	0	3	0
夜（20～24 時頃）	1	8	2	0	3	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0
深夜（24～4 時頃）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
不明	1	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	13
合計	33	67	20	2	17	16	4	6	0	1	1	21	0	8	13

⑤　受傷の状況

医療機関に「通院」をした割合が一番多く、ほぼ同じくして「受診なし」が多い。男女で受診の状況に大きな差はない。

図表 84　男女別受診内容　（単位：件）

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
入院	7	3.3%	2	3.2%	4	3.1%	1	5.9%
通院	88	42.1%	26	41.3%	58	45.0%	4	23.5%
受診なし	86	41.1%	27	42.9%	53	41.1%	6	35.3%
不明	28	13.4%	8	12.7%	14	10.9%	6	35.3%
合計	209	100.0%	63	100.0%	129	100.0%	17	100.0%

「70～79 歳」では他年齢層に比べ「入院」についての割合が高く、「受診しない」の割合が低い傾向がある。

図表 85　年齢別受診内容（実数）　（単位：件）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
入院	0	0	0	1	1	0	4	1	0
通院	0	7	4	8	16	13	29	11	0
受診なし	3	7	11	10	14	16	14	10	1
不明	0	0	1	1	5	7	10	4	0
合計	3	14	16	20	36	36	57	26	1

図表 86　年齢別受診内容（割合）　（単位：件）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
入院	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	2.8%	0.0%	7.0%	3.8%	0.0%
通院	0.0%	50.0%	25.0%	40.0%	44.4%	36.1%	50.9%	42.3%	0.0%
受診なし	100.0%	50.0%	68.8%	50.0%	38.9%	44.4%	24.6%	38.5%	100.0%
不明	0.0%	0.0%	6.3%	5.0%	13.9%	19.4%	17.5%	15.4%	0.0%
回答者数	3	14	16	20	36	36	57	26	1

「入院」は「交通事故」、「通院」は「転倒」によるけがが最も多くなっている。

図表 87　原因別受診内容　（単位：件）

	交通事故	転倒	転落	挟まれ・巻き込まれ	人・物との接触・衝突	刃物等で切って	火・熱湯等の熱源	虫や動物に刺され・咬まれ	異物などの誤飲	ものをつまらせた	暴行	無理な頑張りにより	おぼれ	その他	不明
入院	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
通院	16	29	9	0	6	6	1	1	0	0	0	16	0	4	0
受診なし	12	28	8	2	11	10	3	5	0	1	1	2	0	3	0
不明	3	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	13
合計	33	67	20	2	17	16	4	6	0	1	1	21	0	8	13

「入院」「通院」共に、「道路・歩道」でのけがによるものが最も多く、次いで「自宅（屋内）」となっている。「受診なし」の受傷については「自宅（屋内）」が最も多かった。

図表 88　場所別受診内容　（単位：件）

	自宅（屋内）	自宅（屋外）及びその周辺	道路・歩道	商業・飲食・娯楽施設	学校・幼稚園・保育所	公園	スポーツ施設	駅・バス停	農地	仕事場	海	山	川	その他	不明
入院	1	0	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
通院	24	14	28	4	0	2	5	1	1	5	1	1	0	2	0
受診なし	30	10	22	2	0	3	1	1	2	9	2	1	0	2	1
不明	4	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	13
合計	59	28	59	6	0	5	6	3	3	15	3	3	0	5	14

行動別にみると、「入院」は歩行中のけがによるものが最も多く、「通院」は「在宅中」「自転車乗用中」のけがが多い。。

図表 89　行動別受診内容　（単位：件）

	在宅中	仕事中	学校・幼稚園・保育所活動中	運動中	遊び・レジャー中	自動車乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	不明
入院	1	1	0	0	0	1	1	3	0	0
通院	17	8	0	6	10	8	16	12	10	1
受診なし	26	10	0	2	4	9	16	8	9	2
不明	2	0	0	0	0	1	2	3	2	18
合計	46	19	0	8	14	19	35	26	21	21

⑦けがの予防

問：転倒等のけがは、体力の低下が原因で起こることがあります。体力を維持するために、実際行っていることはありますか？（複数回答）

体力維持のために、「特に何もしていない」人の割合は、全体では 32.2%と最も高くなっているが、男性では「ウォーキング」が最も割合が高くなっている。

図表 90　男女別体力維持方法

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
体操教室に参加する	62	4.9%	7	1.5%	54	7.1%	1	2.0%
ラジオ体操やリズム体操	116	9.1%	36	7.9%	77	10.1%	3	6.0%
元希者エクササイズ	17	1.3%	3	0.7%	14	1.8%	0	0.0%
筋力トレーニング	173	13.6%	82	17.9%	88	11.5%	3	6.0%
ストレッチ	294	23.2%	105	23.0%	184	24.1%	5	10.0%
ウォーキング	370	29.2%	155	33.9%	202	26.5%	13	26.0%
よい姿勢を心がける	259	20.4%	76	16.6%	179	23.5%	4	8.0%
その他	118	9.3%	49	10.7%	62	8.1%	7	14.0%
特に何も行っていない	409	32.2%	136	29.8%	257	33.7%	16	32.0%
不明	90	7.1%	36	7.9%	44	5.8%	10	20.0%

年齢別にみると、高年齢層では「ウォーキング」をおこなっている割合が高い。

図表 91　年齢別体力維持方法

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
体操教室に参加する	0	1	0	2	7	11	31	10	0
ラジオ体操やリズム体操	1	2	7	5	13	19	52	16	1
元希者エクササイズ	0	0	0	0	0	0	16	1	0
筋力トレーニング	6	27	20	25	27	21	35	12	0
ストレッチ	6	28	24	38	63	55	63	17	0
ウォーキング	6	18	14	31	53	65	135	46	2
よい姿勢を心がける	2	21	16	20	32	43	93	32	0
その他	1	5	6	8	25	25	32	16	0
特に何も行っていない	3	42	53	77	76	63	68	24	3
不明	0	1	2	10	8	12	34	20	3

問：自宅内での転倒予防について、どのような対策をおこなっていますか？（複数回答）

転倒予防のために、「特に何もしていない」人の割合は、全体では 49.1%と最も高くなっており、次いで「手すりを設置」で 33.7%であった。

図表 92　男女別転倒予防方法

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
じゅうたんのへりを固定	109	8.6%	33	7.2%	70	9.2%	6	12.0%
肩より高いところに物を置かない	43	3.4%	16	3.5%	27	3.5%	0	0.0%
手すりを設置	428	33.7%	146	31.9%	263	34.5%	19	38.0%
階段等に滑り止めを設置	235	18.5%	85	18.6%	141	18.5%	9	18.0%
その他	36	2.8%	9	2.0%	26	3.4%	1	2.0%
特に何も行っていない	623	49.1%	236	51.6%	370	48.6%	17	34.0%
不明	91	7.2%	36	7.9%	44	5.8%	11	22.0%

年齢別にみると、若年層では「特に何も行っていない」が半数以上を占めているが、高年齢になるにつれ「特に何も行っていない」の回答割合が低くなっている。

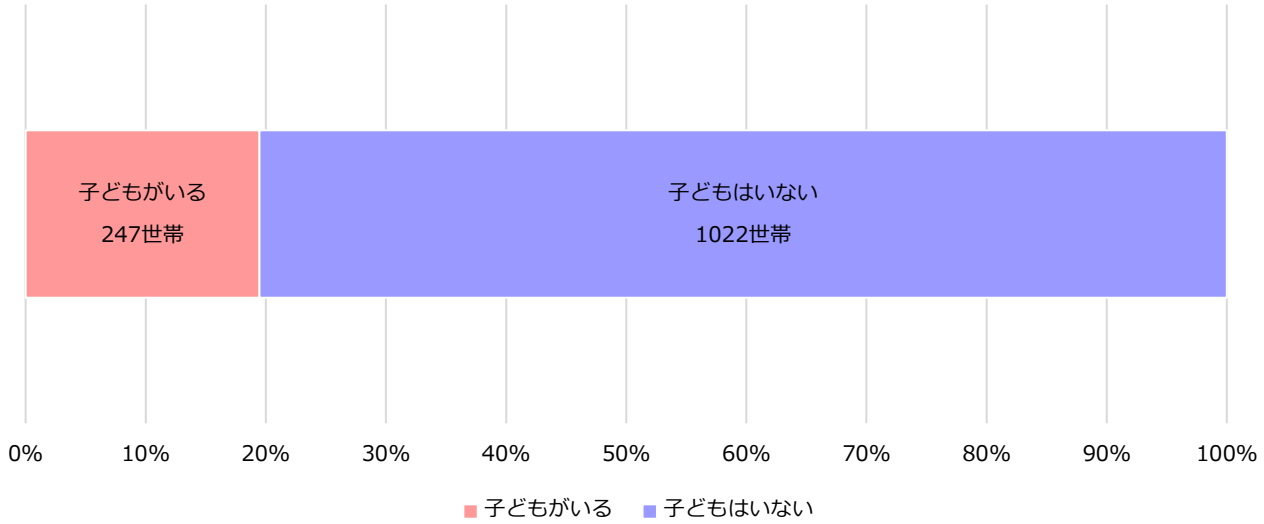
図表 93　年齢別転倒予防方法

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	不明
じゅうたんのへりを固定	0	4	6	3	10	22	43	20	1
肩より高いところに物を置かない	1	0	2	2	4	5	20	11	0
手すりを設置	3	13	42	42	64	67	156	63	1
階段等に滑り止めを設置	1	7	25	25	29	42	89	32	1
その他	0	0	3	3	5	6	13	8	0
特に何も行っていない	8	74	93	93	123	111	100	30	4
不明	0	2	13	13	6	11	37	17	3

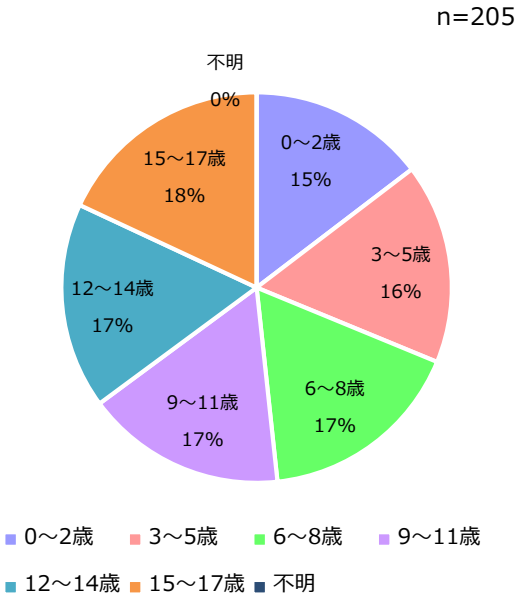
11．18 歳未満の子どもがいる世帯について

「子どもがいない世帯」が「子どもがいる世帯」の４倍となっている。子どもの年齢区分に関しては、男女で特に大きな差はみられない。

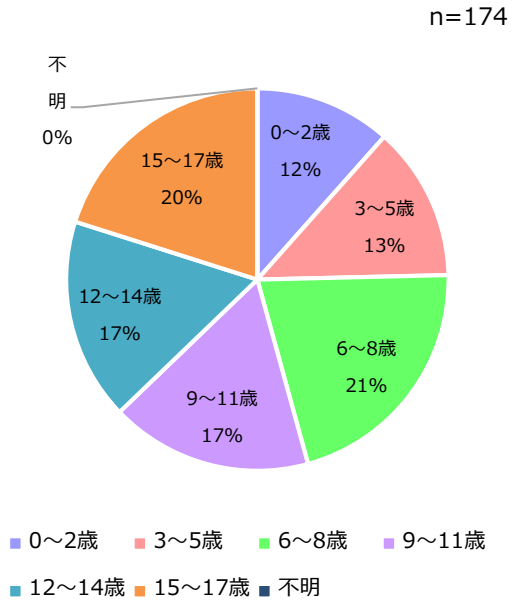
図表 94　子どもの有無



図表 95　子どもの年齢区分（男）



図表 96　子どもの年齢区分（女）

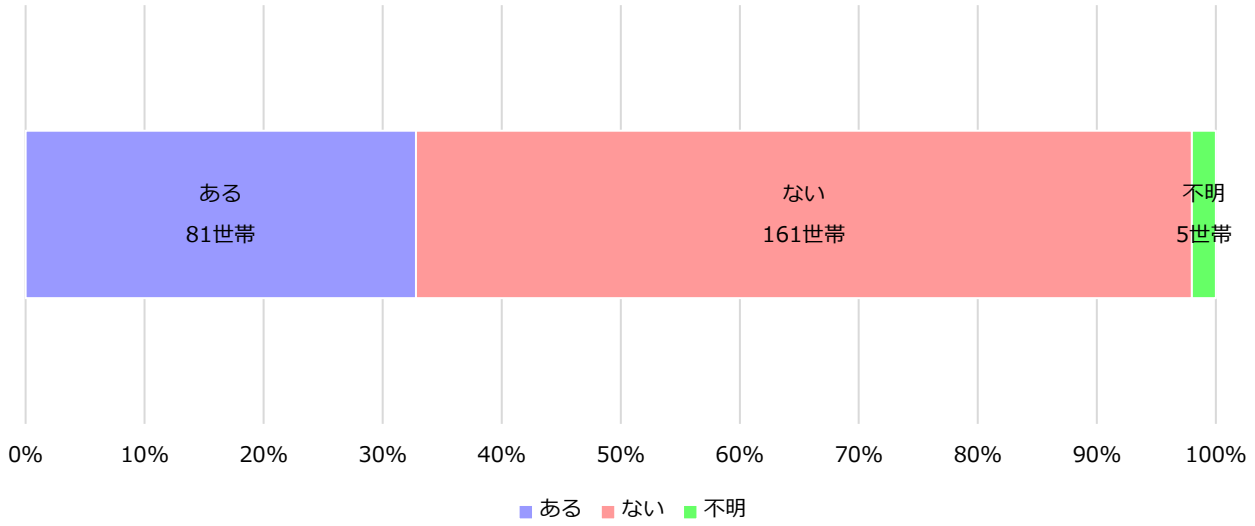


※性別不明　n=1

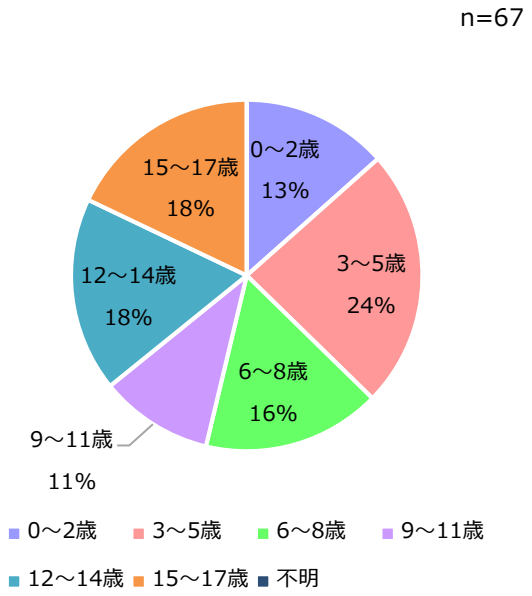
12. 過去 1 年間の 18 歳未満の子どものけがについて

18 歳未満の子どもが過去 1 年間にけがをした経験がある世帯は、全体の 32.8%であった。受傷については男の子の割合が多く、男女ともに「3～5 歳」が比較的多くなっている。また、男の子については他の年齢層では同程度の件数があるが、女の子については「6～8 歳」が多く、「15～17 歳」が少ない。

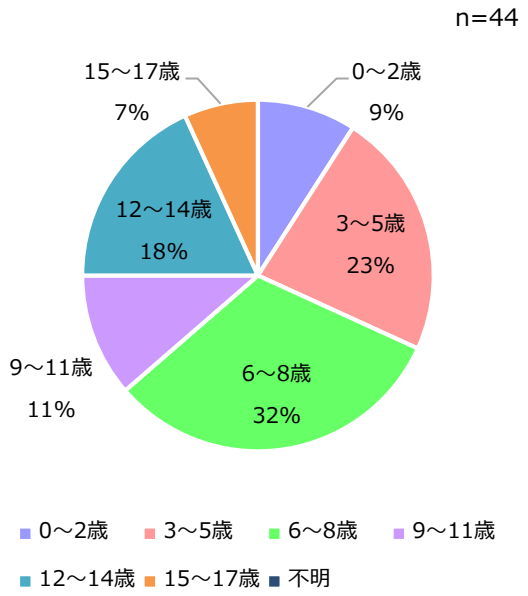
図表 97　けがの経験の有無



図表 98　年齢層別受傷件数（男）



図表 99　年齢別受傷件数（女）



※性別不明　n=0

① けがの原因

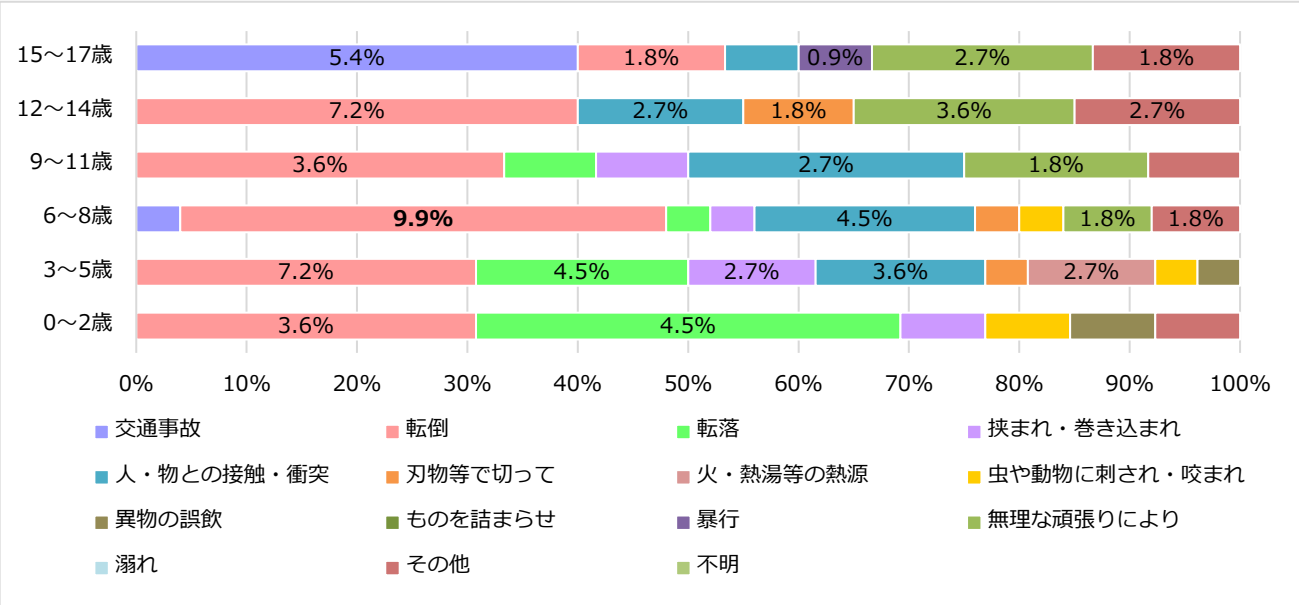
年齢別で受傷が多い「3～5 歳」と「6～8 歳」「12～14 歳」では、「転倒」による受傷が最も多い。「15～17 歳」では「交通事故」による受傷が多い。

図表 100　年齢別原因別受傷件数　（単位:件）

	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	不明
交通事故	0	0	1	0	0	6	0
転倒	4	8	11	4	8	2	0
転落	5	5	1	1	0	0	0
挟まれ・巻き込まれ	1	3	1	1	0	0	0
人・物との接触・衝突	0	4	5	3	3	1	0
刃物等で切って	0	1	1	0	2	0	0
火・熱湯等の熱源	0	3	0	0	0	0	0
虫や動物に刺され・咬まれ	1	1	1	0	0	0	0
異物の誤飲	1	1	0	0	0	0	0
ものを詰まらせ	0	0	0	0	0	0	0
暴行	0	0	0	0	0	1	0
無理な頑張りにより	0	0	2	2	4	3	0
溺れ	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	2	1	3	2	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	26	25	12	20	15	0

「6～8 歳」の「転倒」による受傷の割合が全体の 9.9%と最も高い。年齢によって、受傷理由が異なることがわかる。

図表 101　年齢別原因別受傷率



② けがの場所

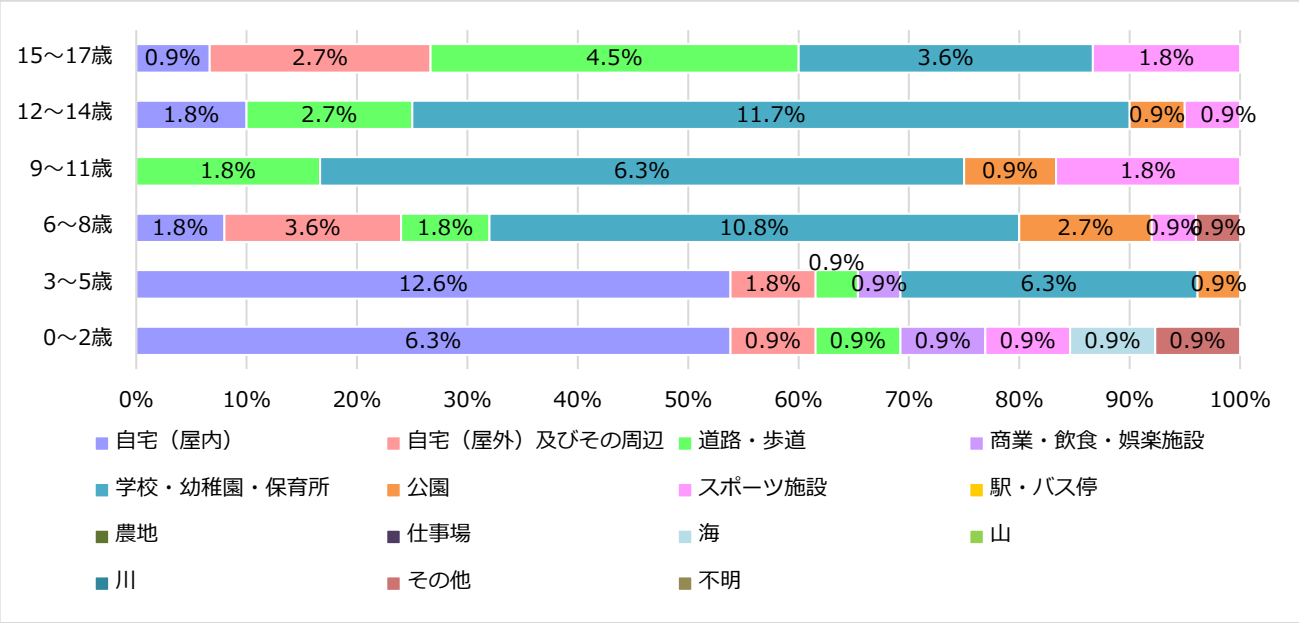
「学校・幼稚園・保育所」での受傷が多く、割合としては全体の 38.7%となっている。次いで「自宅（屋内）」での受傷が多く、特に「0～2 歳」「3～5 歳」において件数が多い。

図表 102　年齢別場所別受傷件数　（単位:件）

	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	不明
自宅（屋内）	7	14	2	0	2	1	0
自宅（屋外）及びその周辺	1	2	4	0	0	3	0
道路・歩道	1	1	2	2	3	5	0
商業・飲食・娯楽施設	1	1	0	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所	0	7	12	7	13	4	0
公園	0	1	3	1	1	0	0
スポーツ施設	1	0	1	2	1	2	0
駅・バス停	0	0	0	0	0	0	0
農地	0	0	0	0	0	0	0
仕事場	0	0	0	0	0	0	0
海	1	0	0	0	0	0	0
山	0	0	0	0	0	0	0
川	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	26	25	12	20	15	0

6 歳未満では「自宅」での受傷が多く、6 歳以上では「学校・幼稚園・保育所」での受傷の割合が多くなり、「15～17 歳」では「道路・歩道」の割合が多くなっている。

図表 103　年齢別場所別受傷率



受傷件数の最も多い「学校・幼稚園・保育所」では、「転倒」や「人・物との接触・衝突」により受傷している。また、「自宅（屋内）」では「転落」によるけがが多い。

図表 104　場所別原因別受傷件数　（単位：件）

	自宅（屋内）	自宅（屋外）及びその周辺	道路・歩道	商業・飲食・娯楽施設	学校・幼稚園・保育所	公園	スポーツ施設	駅・バス停	農地	仕事場	海	山	川	その他	不明
交通事故	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転倒	5	3	10	0	15	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0
転落	7	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
挟まれ・巻き込まれ	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人・物との接触・衝突	5	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
刃物等で切って	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火・熱湯等の熱源	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虫や動物に刺され･咬まれ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
異物の誤飲	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ものを詰まらせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
暴行	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無理な頑張りにより	0	0	0	0	5	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0
溺れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	10	14	2	43	6	7	0	0	0	1	0	0	2	0

③ 受傷時の行動

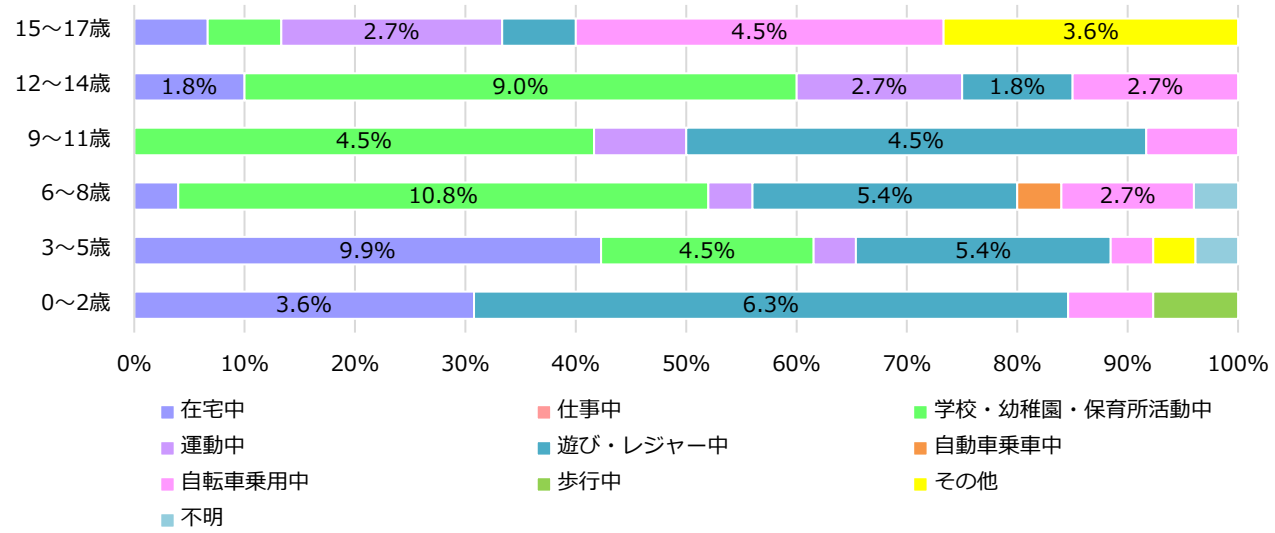
受傷時の行動は「学校・幼稚園・保育所活動中」が最も多く全体の 28.8%、次いで「遊び・レジャー中」が 24.3%なっている。

図表 105　年齢別行動別受傷件数　（単位:件）

	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	不明
在宅中	4	11	1	0	2	1	0
仕事中	0	0	0	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所活動中	0	5	12	5	10	1	0
運動中	0	1	1	1	3	3	0
遊び・レジャー中	7	6	6	5	2	1	0
自動車乗車中	0	0	1	0	0	0	0
自転車乗用中	1	1	3	1	3	5	0
歩行中	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	4	0
不明	0	1	1	0	0	0	0
合計	13	26	25	12	20	15	0

「6～8 歳」での「学校・幼稚園・保育所活動中」の受傷が全体の 10.8%と最も多い。また、全体として最も多い「遊び・レジャー中」の受傷については 11 歳以下での割合が高く、5 歳以下では「在宅中」での受傷の割合が目立つ。

図表 106　年齢別行動別受傷率



受傷時の行動と原因の組み合わせでは「遊び・レジャー中」の「転倒」による受傷が最も多い。また、受傷行動として最も多い「学校・幼稚園・保育所活動中」では、「転倒」「人・物との接触・衝突」による受傷が多い。

図表 107　行動別原因別受傷件数　（単位:件）

	在宅中	仕事中	学校・幼稚園・保育所活動中	運動中	遊び・レジャー中	自動車乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	不明
交通事故	0	0	0	0	1	1	3	0	2	0
転倒	3	0	11	2	12	0	9	0	0	0
転落	5	0	1	1	3	0	0	1	0	1
挟まれ・巻き込まれ	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0
人・物との接触・衝突	4	0	10	0	2	0	0	0	0	0
刃物等で切って	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
火・熱湯等の熱源	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
虫や動物に刺され・咬まれ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
異物の誤飲	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
ものを詰まらせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
暴行	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
無理な頑張りにより	0	0	4	4	1	0	0	0	2	0
溺れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	3	2	3	0	1	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20	0	32	9	27	1	14	1	5	2

「学校・幼稚園・保育所」での「学校・幼稚園・保育所活動中」の受傷が 32 件と最も多い。

図表 108　行動別場所別受傷件数　（単位:件）

	在宅中	仕事中	学校・幼稚園・保育所活動中	運動中	遊び・レジャー中	自動車乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	不明
自宅（屋内）	19	0	0	0	5	0	0	1	0	1
自宅（屋外）及びその周辺	0	0	0	0	2	1	6	0	1	0
道路・歩道	0	0	0	0	5	0	7	0	2	0
商業・飲食・娯楽施設	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所	0	0	33	6	4	0	0	0	0	0
公園	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0
スポーツ施設	0	0	0	3	2	0	0	0	2	0
駅・バス停	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仕事場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20	0	32	9	27	1	14	1	5	2

④　受傷の時期

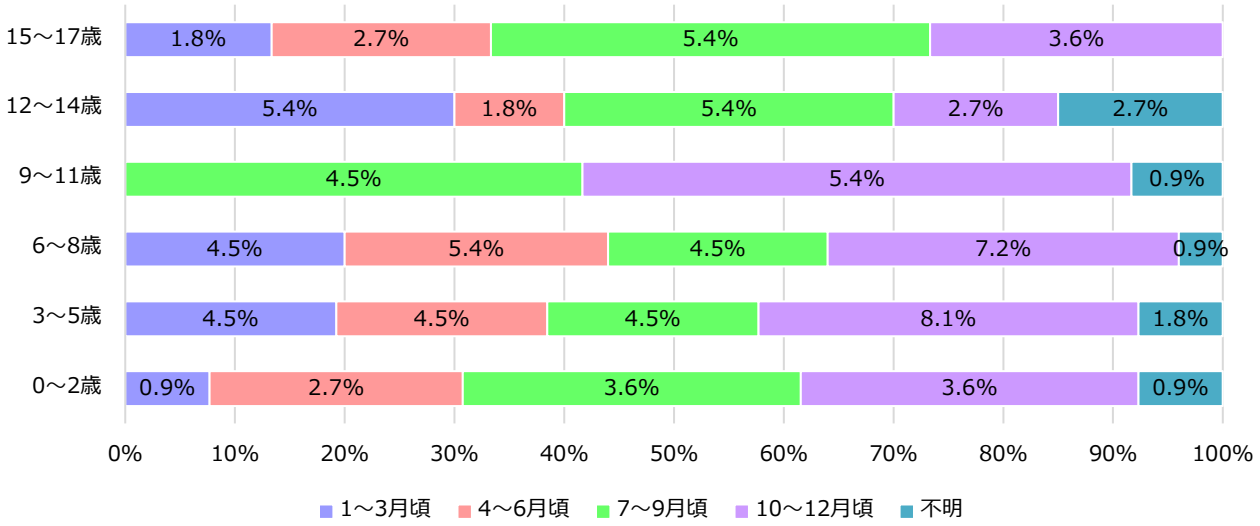
受傷時期は、「10～12 月頃」が最も多くなっているが、年齢によって一番多い時期は異なる。

図表 109　年齢別時期別受傷件数　（単位:件）

	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	不明
1～3 月頃	1	5	5	0	6	2	0
4～6 月頃	3	5	6	0	2	3	0
7～9 月頃	4	5	5	5	6	6	0
10～12 月頃	4	9	8	6	3	4	0
不明	1	2	1	1	3	0	0
合計	13	26	25	12	20	15	0

年齢別時期別受傷件数は「3～5 歳」の「10～12 月頃」の受傷が最も多くなっている。

図表 110　年齢別時期別受傷率



時期別原因別受傷件数は「4～6 月頃」の「転倒」が最も多くなっている。

図表 111　時期別原因別受傷件数　（単位:件）

	1～3 月頃	4～6 月頃	7～9 月頃	10～12 月頃	不明
交通事故	1	3	2	1	0
転倒	6	10	9	7	5
転落	2	2	2	5	1
挟まれ・巻き込まれ	2	0	2	2	0
人・物との接触・衝突	4	2	4	5	1
刃物等で切って	0	1	0	3	0
火・熱湯等の熱源	1	0	1	1	0
虫や動物に刺され・咬まれ	0	1	1	0	1
異物の誤飲	0	0	1	1	0
ものを詰まらせ	0	0	0	0	0
暴行	1	0	0	0	0
無理な頑張りにより	1	0	5	5	0
溺れ	0	0	0	0	0
その他	1	0	4	4	0
不明	0	0	0	0	0
合計	19	19	31	34	8

場所別として最も多くなっている「学校・幼稚園・保育所」において「10～12 月頃」受傷が最も多く、次いで「7～9 月頃」が多くなっているが、「1 月～6 月頃」の受傷件数は比較的少ない。

図表 112　時期別場所別受傷件数　（単位：件）

	1～3 月頃	4～6 月頃	7～9 月頃	10～12 月頃	不明
自宅（屋内）	7	4	5	10	0
自宅（屋外）及びその周辺	2	3	3	2	0
道路・歩道	0	4	4	3	3
商業・飲食・娯楽施設	0	0	1	0	1
学校・幼稚園・保育所	7	6	12	16	2
公園	1	2	2	1	0
スポーツ施設	2	0	2	2	1
駅・バス停	0	0	0	0	0
農地	0	0	0	0	0
仕事場	0	0	0	0	0
海	0	0	1	0	0
山	0	0	0	0	0
川	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1
不明	0	0	0	0	0
合計	19	19	31	34	8

時期別行動別受傷件数としては「10～12 月頃」の「学校・幼稚園・保育所活動中」の受傷が最も多く、次いで「7～9 月頃」の「遊び・レジャー中」となっている。

図表 113　時期別行動別受傷件数　（単位：件）

	1～3 月頃	4～6 月頃	7～9 月頃	10～12 月頃	不明
在宅中	6	3	5	5	0
仕事中	0	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所活動中	5	6	9	12	1
運動中	2	0	3	4	0
遊び・レジャー中	4	4	10	6	3
自動車乗車中	0	1	0	0	0
自転車乗用中	2	3	3	3	3
歩行中	0	0	0	1	0
その他	0	1	1	3	0
不明	0	1	0	0	1
合計	19	19	31	34	8

⑤　受傷の時間帯

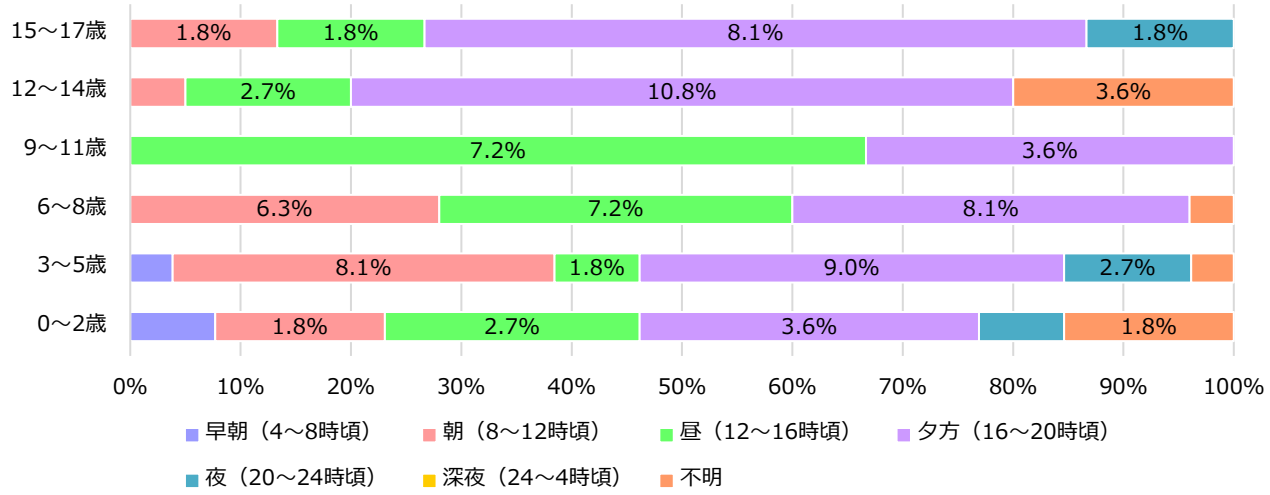
受傷の時間帯は「夕方（16～20 時頃）」が最も多く、次いで「昼（12～16 時頃）」となっている。

図表 114　年齢別時間帯別受傷件数　（単位：件）

	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	不明
早朝（4～8 時頃）	1	1	0	0	0	0	0
朝（8～12 時頃）	2	9	7	0	1	2	0
昼（12～16 時頃）	3	2	8	8	3	2	0
夕方（16～20 時頃）	4	10	9	4	12	9	0
夜（20～24 時頃）	1	3	0	0	0	2	0
深夜（24～4 時頃）	0	0	0	0	0	0	0
不明	2	1	1	0	4	0	0
合計	13	26	25	12	20	15	0

時間帯別の受傷率をみると、年齢間で割合が変わるが、その年齢でも「昼（12～16 時頃）」と「夕方（16～20 時頃）」が多く、全体の 66.7%を占めている。

図表 115　年齢別時間帯別受傷率



受傷の多い「夕方（16～20 時頃）」では、「転倒」によるけがが多くなっており、他の時間帯では比較的少ないが、この時間帯においては「交通事故」「転落」「無理な頑張りにより」受傷した件数が多い。

図表 116　時間帯別原因別受傷件数　（単位：件）

	早朝（4～8 時頃）	朝（8～12 時頃）	昼（12～16 時頃）	夕方（16～20 時頃）	夜（20～24 時頃）	深夜（24～4 時頃）	不明
交通事故	0	2	0	4	1	0	0
転倒	1	10	7	14	1	0	4
転落	1	2	1	6	2	0	0
挟まれ・巻き込まれ	0	2	2	1	0	0	1
人・物との接触・衝突 0	0	3	7	4	1	0	1
刃物等で切って	0	0	2	2	0	0	0
火・熱湯等の熱源	0	1	0	2	0	0	0
虫や動物に刺され･咬まれ	0	1	0	0	0	0	2
異物の誤飲	0	0	0	1	1	0	0
ものを詰まらせ	0	0	0	0	0	0	0
暴行	0	0	1	0	0	0	0
無理な頑張りにより	0	0	2	9	0	0	0
溺れ	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	5	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	21	26	48	6	0	8

朝から夕方では「学校・幼稚園・保育所」でのけが、夕方から夜は「自宅」でのけがが多くなっている。また、「道路・歩道」においては他の時間帯に比べ「夕方（16～20 時頃）」の受傷件数が多い。

図表 117　時間帯別場所別受傷件数　（単位：件）

	早朝（4～8 時頃）	朝（8～12 時頃）	昼（12～16 時頃）	夕方（16～20 時頃）	夜（20～24 時頃）	深夜（24～4 時頃）	不明
自宅（屋内）	2	5	2	11	4	0	2
自宅（屋外）及びその周辺	0	2	1	5	1	0	1
道路・歩道	0	2	1	8	0	0	3
商業・飲食・娯楽施設	0	0	0	1	1	0	0
学校・幼稚園・保育所	0	10	17	15	0	0	1
公園	0	1	2	3	0	0	0
スポーツ施設	0	1	1	5	0	0	0
駅・バス停	0	0	0	0	0	0	0
農地	0	0	0	0	0	0	0
仕事場	0	0	0	0	0	0	0
海	0	0	1	0	0	0	0
山	0	0	0	0	0	0	0
川	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	21	26	48	6	0	8

朝から夕方では「学校・幼稚園・保育所活動中」「遊び・レジャー中」に受傷している。また、「在宅中」と「自転車乗車中」の受傷は、他の時間帯に比べ「夕方（16～20 時頃）」に多くなっている。

図表 118　時間帯別行動別受傷件数　（単位：件）

	早朝（4～8 時頃）	朝（8～12 時頃）	昼（12～16 時頃）	夕方（16～20 時頃）	夜（20～24 時頃）	深夜（24～4 時頃）	不明
在宅中	1	3	1	9	3	0	2
仕事中	0	0	0	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所活動中	0	9	13	11	0	0	0
運動中	0	1	1	7	0	0	0
遊び・レジャー中	0	5	9	9	2	0	2
自動車乗車中	0	0	0	1	0	0	0
自転車乗用中	0	2	2	6	1	0	3
歩行中	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	4	0	0	0
不明	0	0	0	1	0	0	1
合計	2	21	26	48	6	0	8

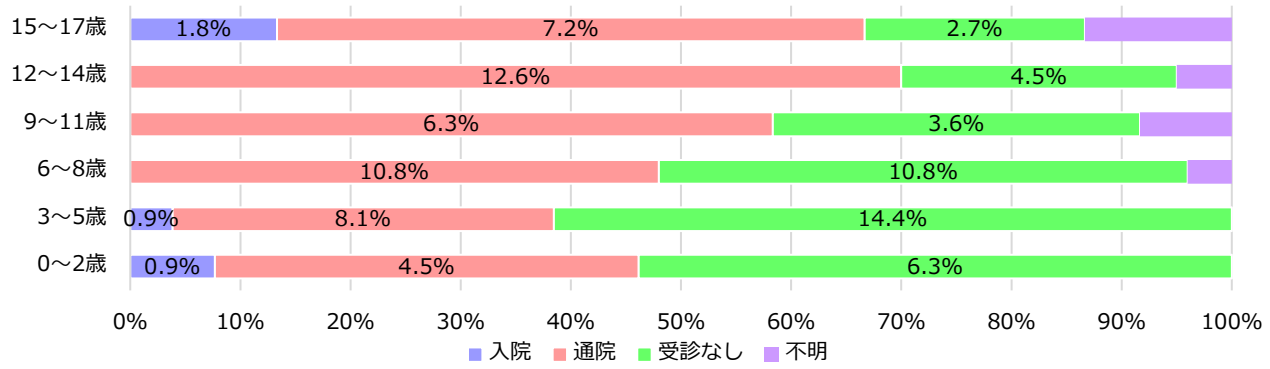
⑥受診状況

0～8 歳では、「受診なし」の軽度な受傷の割合が多い。

図表 119　年齢別受診状況別受傷件数　（単位:件）

	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	不明
入院	1	1	0	0	0	2	0
通院	5	9	12	7	14	8	0
受診なし	7	16	12	4	5	3	0
不明	0	0	1	1	1	2	0
合計	13	26	25	12	20	15	0

図表 120　年齢別受診状況別受傷率



「通院」の原因は「転倒」や「無理な頑張りにより」が多い。

図表 121　受診状況別原因別受傷件数　（単位:件）

	入院	通院	受診なし	不明
交通事故	1	4	1	1
転倒	1	12	23	1
転落	1	8	3	0
挟まれ・巻き込まれ	0	2	4	0
人・物との接触・衝突	0	6	9	1
刃物等で切って	0	3	1	0
火・熱湯等の熱源	0	2	1	0
虫や動物に刺され・咬まれ	0	2	1	0
異物の誤飲	0	0	2	0
ものを詰まらせ	0	0	0	0
暴行	0	0	0	1
無理な頑張りにより	0	10	0	1
溺れ	0	0	0	0
その他	1	6	2	0
不明	0	0	0	0
合計	4	55	47	5

受傷場所別では「学校・幼稚園・保育所」「公園」「スポーツ施設」で「通院」の割合が多い。

図表 122　受診状況別場所別受傷件数　（単位:件）

	入院	通院	受診なし	不明
自宅（屋内）	1	11	13	1
自宅（屋外）及びその周辺	1	4	4	1
道路・歩道	0	5	8	1
商業・飲食・娯楽施設	0	1	1	0
学校・幼稚園・保育所	2	22	17	2
公園	0	5	1	0
スポーツ施設	0	6	1	0
駅・バス停	0	0	0	0
農地	0	0	0	0
仕事場	0	0	0	0
海	0	0	1	0
山	0	0	0	0
川	0	0	0	0
その他	0	1	1	0
不明	0	0	0	0
合計	4	55	47	5

「通院」では「学校・幼稚園・保育所活動中」と「遊び・レジャー中」「在宅中」の受傷が大半を占めている。また、「運動中」の受傷については「受診なし」は０件となっており、「通院」や「入院」をする程度の受傷が多くなっている。

図表 123　受診状況別行動別受傷件数　（単位：件）

	入院	通院	受診なし	不明
在宅中	1	10	7	1
仕事中	0	0	0	0
学校・幼稚園・保育所活動中	0	16	15	2
運動中	2	7	0	0
遊び・レジャー中	0	12	14	1
自動車乗車中	0	0	0	1
自転車乗用中	1	3	10	0
歩行中	0	0	1	0
その他	0	5	0	0
不明	0	2	0	0
合計	4	55	47	5

13. 子育ての感じ方について

問：子育てについて、どう感じていますか？

子育てについて、「楽しいと感じるときのほうが多い」人が最も多く、半数以上を占めている。父母で大きな差はみられない。

図表 124　回答者男女別子育ての感じ方

	合計		男		女		不明	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
楽しいと感じるときのほうが多い	148	59.9%	40	66.7%	104	58.1%	4	50.0%
楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい	62	25.1%	13	21.7%	47	26.3%	2	25.0%
つらいと感じるときのほうが多い	7	2.8%	2	3.3%	5	2.8%	0	0.0%
分からない	18	7.3%	3	5.0%	14	7.8%	1	12.5%
その他	4	1.6%	0	0.0%	4	2.2%	0	0.0%
不明	8	3.2%	2	3.3%	5	2.8%	1	12.5%
合計	247	100.0%	60	100.0%	179	100.0%	8	100.0%

「50～59 歳」においてのみ「楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい」の割合が「楽しいと感じるときのほうが多い」よりも多くなっている。

図表 125　年齢別子育ての感じ方（実数）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
楽しいと感じるときのほうが多い	1	10	48	64	10	5	9	1
楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい	0	4	16	28	12	2	0	0
つらいと感じるときのほうが多い	0	2	2	1	1	1	0	0
分からない	2	5	2	5	3	1	0	0
その他	0	0	0	2	0	2	0	0
不明	0	1	1	0		1	5	0
合計	3	22	69	100	26	12	14	0

図表 126　年齢別子育ての感じ方（割合）

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
楽しいと感じるときのほうが多い	33.3%	45.5%	69.9%	64.0%	38.5%	41.7%	64.3%	100.0%
楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい	0.0%	18.2%	23.2%	28.0%	46.2%	16.7%	0.0%	0.0%
つらいと感じるときのほうが多い	0.0%	9.1%	2.9%	1.0%	3.8%	8.3%	0.0%	0.0%
分からない	66.7%	22.7%	2.9%	5.0%	11.5%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
不明	0.0%	4.5%	1.4%	0.0%	0.0%	8.3%	35.7%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

14．子育て支援サービスに関する情報の入手について

問：子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか？

「入手しやすい」、「どちらかといえば入手しやすい」と回答した世帯が合わせて 41.7%、「どちらかといえば入手しにくい」「入手しにくい」と回答した世帯が合わせて 30.0%となった。

図表 127　子育て支援サービスの情報入手のしやすさ

	入手しやすい	どちらかといえば入手しやすい	入手しにくい	どちらかといえば入手しにくい	どちらともいえない	不明	合計
件数	25	78	34	40	57	13	247
割合	10.1%	31.6%	13.8%	16.2%	23.1%	5.3%	100.0%

住宅の状況別にみても、あまり大きな差は見られない。

図表 128　住宅の状況別子育て支援サービスの情報入手のしやすさ

	一戸建て持家	一戸建て借家	分譲マンション	賃貸マンション	公営・公団住宅	社宅・寮	その他
入手しやすい	9.4%	33.3%	18.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
どちらかといえば入手しやすい	30.4%	16.7%	36.4%	43.5%	0.0%	50.0%	0.0%
入手しにくい	14.1%	16.7%	9.1%	13.0%	33.3%	0.0%	0.0%
どちらかといえば入手しにくい	15.7%	16.7%	18.2%	17.4%	0.0%	50.0%	0.0%
どちらともいえない	24.1%	16.7%	18.2%	21.7%	33.3%	0.0%	0.0%
不明	6.3%	0.0%	0.0%	00%	33.3%	0.0%	0.0%
18 歳未満の子どもがいる世帯	191 世帯	6 世帯	22 世帯	23 世帯	3 世帯	2 世帯	0 世帯

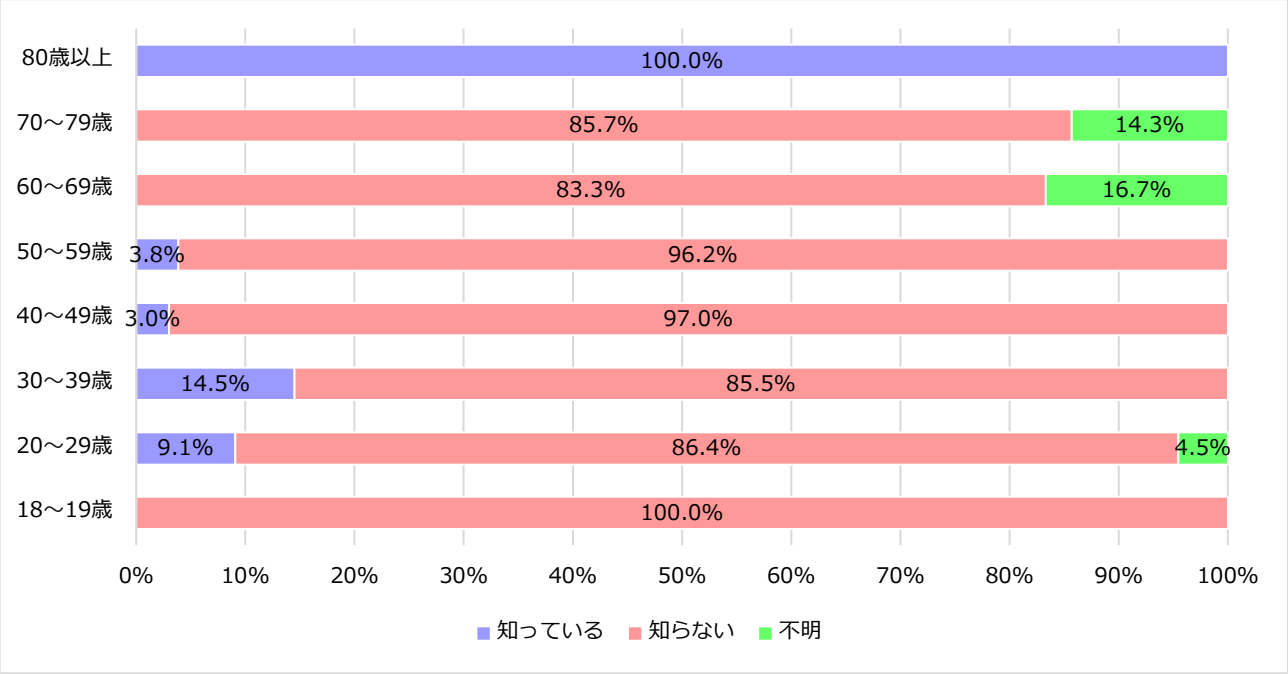
問：リーフレット「あんあん」を知っていますか？

リーフレット「あんあん」の認知度は、市全体で 6.9%にとどまっている。20～39 歳では他年齢層に比べ認知度が高くなっている。

図表 129　年齢別リーフレット「あんあん」認知度

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
知っている	0	2	10	3	1	0	0	1
知らない	3	19	59	97	25	10	12	0
不明	0	1	0	0	0	2	2	0

図表 130　リーフレット「あんあん」認知度



問：子育て支援サービスの情報は、何から入手しますか？（複数回答）

「市の広報」から子育て支援サービスの情報を入手している世帯が 66.0%を占めており、20～29 歳以外の年齢層において最も多くなっている。

図表 131　子育て支援サービスの情報入手方法

	市の広報	ホームページ	フェイスブック	リーフレット「あんあん」	市からのメール	子育て応援ブック	乳幼児健診時での案内	医療機関等のポスターやチラシ	その他	入手できていない	不明
件数	163	51	14	2	10	2	25	9	7	43	12
割合	66.0%	20.6%	5.7%	0.8%	4.0%	0.8%	10.1%	3.6%	2.8%	17.4%	4.9%

図表 132　年齢別子育て支援サービスの情報入手方法

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
市の広報	1	5	51	75	16	7	7	1
ホームページ	1	7	16	20	6	0	1	0
フェイスブック	0	2	4	7	1	0	0	0
リーフレット「あんあん」	0	0	1	1	0	0	0	0
市からのメール	0	0	5	4	1	0	0	0
子育て応援ブック	0	0	1	1	0	0	0	0
乳幼児健診時での案内	0	3	13	6	1	1	1	0
医療機関等のポスターやチラシ	0	0	4	4	1	0	0	0
その他	0	2	3	1	1	0	0	0
入手できていない	1	7	9	17	7	2	0	0
不明	0	3	0	0	1	2	6	0

15. 0 歳から 6 歳の子どもがいる世帯について

問：乳幼児（0 歳～6 歳）がいる世帯について、乳幼児が家庭内でけがをしないように、どのような事故対策を行っていますか？（複数回答）

「危険なものは手の届かない所に置く」「歯ブラシ等をくわえたまま走らせない」が 70%以上となっている。

図表 133　家庭内での事故対策

	実数	割合
ベッドの柵は必ず上げる	13	12.9%
階段に転落防止用の柵を付けている	25	24.8%
ベランダ等のそばに物を置かない	43	42.6%
家具等の角をガードしている	34	33.7%
危険なものは手の届かない所に置く	75	74.3%
歯ブラシ等をくわえたまま走らせない	71	70.3%
コンセントカバーをしている	27	26.7%
コンロのスイッチをロックしている	21	20.8%
浴槽に水をためておかない	40	39.6%
ドアに指を挟まない工夫をしている	8	7.9%
目を離さない	47	46.5%
その他	6	5.9%
何もしていない	1	1.0%
不明	2	2.0%
0 歳から 6 歳の子どもがいる世帯数	101 世帯	―